

# 西島松北交流公園新築工事の内 建築工事その1

## 図 面 目 録

センターハウス		倉庫	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
101/A	タイトル・図面目録	119/A	倉庫 平面図・立面図・小屋伏図
102/A	特記仕様書(1)	120/A	倉庫 軸組図・基礎伏図・基礎詳細図
103/A	特記仕様書(2)		
104/A	特記仕様書(3)	参考図	鉄骨継手図
105/A	特記仕様書(4)	参考図	溶接標準図1
106/A	全体配置図	参考図	溶接標準図2
107/A	案内図・配置図・面積表・仕上表		
108/A	平面図・立面図・断面図・屋根伏図		
109/A	矩計図・各室面積表		
110/A	平面詳細図		
111/A	展開図1		
112/A	展開図2		
113/A	構造伏図・天井伏図		
114/A	軸組図1		
115/A	軸組図2		
116/A	軸組計算・法規チェック図		
117/A	建具表		
118/A	部分詳細図		
構造図			
101/S	伏図・リスト		

西島松北交流公園新築工事の内建築工事その1 特記仕様書

I 工事概要及び範囲

1. 工事場所 恵庭市西島松268-1, 268-2, 272-1, 273-1, 273-3, 274-1, 274-3, 274-4, 274-6, 275, 276, 277, 278

工事種目	用途地域等	都市計画区域
構造/階数	住宅 地上1階	122.519.50(m <sup>2</sup> )
耐火・準耐火	—	消防法
防火地域	—	法22条区域 区域内

項目	申請部分㎡	既設部分㎡	合計㎡	備考
建築面積	200.88	0	200.88	
延べ床面積	97.20	0	97.20	
建築種別	298.08	0	298.08	
延べ床面積	268.92	0	268.92	
容積率	0.24	%	%	

3. 指定部分工事 (1) 工事範囲 (2) 指定工期 契約日より 平成 年 月 日まで

4. 別途工事 電気設備工事 機械設備工事

5. 工事区分 (該当は番号に○印とする)

対象種目	建築	機械	電気	外構
1 天井改め口、床改め口取付	○			
2 同上開口部補強	○			
3 カバーワーク内床				○
4 物置	○			
5 ゴミステーション	○			
6 園地案内板				○
7 ポンプ小屋				○
8 花壇・菜園				○
9 玄関ポーチ	○			
10 玄関スロープ・階段	○			
11 天井、床部取付用穴明け及挿入	○	○	○	
12 同上開口補強	○			
13 壁部取付用穴明け挿入		○	○	
14 同上開口補強	○			
15 躯体貫通スリーブ	○	○	○	
16 同上補強 (100g以上)	○			
17 犬走り砂利	○			
18 犬走り舗石	○			
19 外灯				○
20 設備用開口部の穴埋補強		○	○	振動緩衝具
21 流し台、コンロ台、吊戸棚	○	○		○
22 レジスター	○			
23 製作流し台、コンロ台、吊戸棚	○	○		
24 同上給排水等配管接続	○	○		
25 給水引込				○
26 ガス引込				○
27 レンジフードファン				○
28 軒先下地壁内配管補強				○
29 軒先下地壁内器具取付補強				○
30 ルーフドレン金物・バルコニー排水金物				○
31 同上立構				○
32 ルーフドレン躯体埋り補強				○
33 防火戸、防煙タレ壁の感知器				○
34 エレベーター本扉		○		
35 エレベーター1次機電源供給まで			○	
36 エレベーターT.E.L.用配線1次まで			○	
37 エレベーター警報取込			○	
38 U.B.本体		○		
39 U.B.バス混合水栓			○	
40 U.B.バス洗い場混合水栓			○	
41 台所 混合水栓			○	
42 台所 排水金物	○			
43 洗面・脱衣室 洗面化粧台+化粧キャビネット				○
44 洗面・脱衣室 洗濯機パン				○
45 洗面・脱衣室 洗濯機用混合水栓				○
46 消火ポンプ室 マンホール蓋				○
47 消火ポンプ室 コンクリート基礎				○
48 消火ポンプ室 消火水栓取付				○
49 洗面 集水軒				○
50 洗面 排水透管				○
51 屋外 灯油タンクの基礎				○
52 屋外 第1雨水排水用の配管				○
53				

II 各工事 1. 図面及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省官庁庁舎補修部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)」による。 2. 特記事項の適用については次による。 イ. 該当する事項、項目には、○印をつける。 ロ. 特記事項は○印を適用し、○印がない場合は※印をつけたものを適用する。 ハ. 特記事項で○印と◎印の付いたものがある場合は、共に適用する。 ニ. 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。

3. 工事にかかる留意事項は次の通りとする。

項目	特記事項
1 建築材料等	※ 本工事に使用する建築材料等は、本特記仕様書において特記されたもの、又はこれと同等以上のものを使用する。同等以上のものを使用する場合は、工事監督者の承認を受けるものとする。建築基準法に定められた区分等
2 品質計画	・ 風速 (V <sub>0</sub> = 32 m/s) ・ 地表粗度区分 (I・II・III・IV) ・ 垂直積雪量 (90 cm)
3 施工等	※ 各工事は施工に先立ち、各施工箇所の基準となる検査図を作成する。 ・ 検査図は施工前図に先立ち、建築、設備、その他、別途発注工事請負者の情報を全て盛り込み、それらの接点の細部調整を行うためのものとする。 ・ 監督者の指示により、建築工事請負者が完成 (平面図、断面図、天井図等) を作成する。設備その他の各関係工事各施工者は、協力して各工事の機能等を完全に確認し、相互調整を行う。
4 図表	※ 本工事に生じた図表は、請負者において管理を行い、記録簿として作成する。 ※ 設計図書に標準的な部分を表示した場合、これに異なる他の部分も標準的な部分に変更して施工するものとする。
5 軽微な変更	※ 納まり、取合いのための変更、または多少の数の増減等、軽微な変更は請負者の範囲内において施工するものとする。
6 完成時の提出図書	完成図表: ※ 作成する (A1判 1部) (A3判 3部) ・ 作成しない (1.7.1) (1.7.2) (表1.7.1) 完成図のCADデータ: ※ 提出する (新、改変のみ) ・ 提出しない (1.7.2) 保全に関する資料: ※ 作成する (提出部数 1部) ・ 作成しない (1.7.3)
7 工事写真及び完成写真	※ 工事写真: カラーコピー 1部 (A3判 3部) ※ 完成写真: カラーコピー 2部 内1部は原本とし、1部は台紙に整理 外部: カラーコピーネット 4カット 内部: カラーコピーネット 各2カットずつ 工程及び完成写真は、国土交通大臣官庁庁舎補修部監修「写真の撮り方」及び建築標準仕様書「写真撮影要領 (建築工事編)」による。
8 発注材の処理等	・ 発注材の処理等は次による。 (監督員に指示のもと処理する) (1.3.8) (1) 引渡しを要する範囲は次により、監督員の指示する方法及び位置に堆積、整理し所定の発生材料報告書により監督員に報告する。 引渡しを要する範囲: (2) 再生利用する場合 施工者は建設副産物の処理に当たって「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守して行わなければならない。 再生資源化施設 (参考) ・ コンクリート塊 受入先: ( km) 住 所: ・ アスファルト・コンクリート塊 受入先: ( km) 住 所: ・ 建設発生木材 受入先: ( km) 住 所: (3) 「資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)」で定められた資材の購入、生産物の搬出がある場合は、工事着手時に次の計画書を作成し提出する。 実施時に変更がある場合は、工事完了時に所定の発生報告書を作成する。 リサイクル法で定められた、一定規模以上の工事(公表の一つも該当するもの)
9 産業廃棄物の処理	・ 建設副産物の処理は次の通りとし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令に準拠して処理する。(監督員に指示のもと処理する) 産業廃棄物処理施設 (参考) 種類: 建設汚泥 受入先: ( km) 住 所: 種類: 廃プラスチック 受入先: ( km) 住 所: 種類: 混合廃棄物 受入先: ( km) 住 所: 種類: 建築発生木材 建設発生木材 合計200 t以上
10 ホムアルデヒド 発散建築材料	※ ホムアルデヒド発散建築材料に指定されている材料は、JIS又はJASで定めるF☆☆☆☆以上のものを使用する。 ※ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び床材等の施工に使用する接着剤、塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものとする。 ※ 請負者は、室内空気中の化学物質の濃度において、指針値以下となるように努め、濃度測定を行う。
11 室内空気中化学物質の濃度抑制	測定対象化学物質の種類及び基準値
12 工事標準	※ 請負者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標準を掲示する。
13 監督員事務所 及び備品等	監督員事務所 ※ 設ける (◎1号・2号・3号・4号・5号) ・ 設けない (表2.3.1) 備品等 ・ 机 ・ 椅子 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 家財 ・ コム長靴 ・ 両合羽 ・ 保護帽 ・ 懐中電灯 ・ 安全帯 ・ 請負者加入電話の子機 ・ 衣類ロッカー ・ 暖房機器 ・ 消火器 ・ 湯沸器 ・ 掃除機
14 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用出来る (※ 有償・無償) ※ 利用出来ない
15 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用出来る (※ 有償・無償) ※ 利用出来ない 種類: ※ 仮設 H: 2.000 mm ( ・ 現場変装 (計画) ・ 図示) ・ 仮門 H: 4.500 mm ( ・ シートゲート ・ パネルゲート) W: 3.000 mm

5 防署養生 防署養生は、次の範囲とする。 仮囲: ・ 上家仮囲 ・ 側仮囲 探検: ・ 外部探検 ・ 内部探検 範囲: ・ W m x L m x D m ・ 図示による 材料: ・ 再生クラッシュラン ・ その他 ( ) ・ 図示による

6 工事用仮設道路

7 安全対策

8 工事実績データの作成登録

9 施工体制台帳の整備

10 下請選定及び資材調達

1 地盤及び掘削 2 建設発生土等の処理

3 出資の 4 排水

5 A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1) ・ 掘削範囲 (約 km 掘削場所: 監督員指示の場所) (3.2.5) ・ 掘削土質 ( ・ 有り ・ 無し) ・ 構内掘削 ( ・ 構内掘削の場所に堆積 (指示による)) ・ 工法その他: ・ 存置する ・ 排水工法: ※ ・ ディープウェル ・ ウェルポイント ・ 排水処理の方法: 2.500万円未満の工事については、受注者のみ登録するものとする。)。また、

1 試験杭

2 既設コンクリート 杭地業

該当	種類の記号	種類	規格名称等	区分等
・	RRC杭	鉄筋コンクリート杭	JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品)	・ 1種 ・ 2種
※	PHC杭	プレストレストコンクリート杭	JIS A 5373 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品)	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 1種

試験杭の種類・数量は杭状図等による。(4.2.2) (打撃試験) 杭の種類及び断面は本杭とし、長さは本杭+ mとする。(その他の工法) 杭の種類及び断面は本杭と同じとし、試験杭を行う。 ※試験杭を行い、品質を確認すること。(1ヶ所) 本杭の位置・数量・種類・断面・長さ・継ぎの有無及び長期設計支持力は、杭状図等による。 本工事に使用する杭の種類等は、次表による。(4.2.2) (表4.2.1)

該当	種類の記号	種類	規格名称等	区分等
・				
・				
・				

上記以外の建築基準法に基づく杭

該当	種類の記号	種類	規格名称等	区分等
・				
・				
・				

3 場所打ちコンクリート杭地業

4 鋼杭地業

5 杭の載荷試験

6 地盤の載荷試験

7 砂利地業

8 床下床層

9 鉄筋の種類

10 鉄筋の継手

3 場所打ちコンクリート杭地業

該当	種類の記号	種類	規格名称等	区分等
・				
・				
・				

4 鋼杭地業

該当	種類の記号	種類	規格名称等	区分等
・				
・				
・				

5 杭の載荷試験

試験の種類	( ・ 荷重載荷試験 ・ 水平載荷試験)
試験の方法:	ケ所
試験箇所:	ケ所
※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 (4.6.2) (4.6.3)	

6 地盤の載荷試験

試験の種類	( ・ 平面載荷試験)
試験の方法:	ケ所
試験箇所:	ケ所
※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 (4.6.2) (4.6.3)	

7 砂利地業

種類	規格名称等	区分等
・		
・		
・		

8 床下床層

該当	種類の記号	種類	規格名称等	区分等
・				
・				
・				

9 鉄筋の種類

該当	鉄筋の種類	適用径 (mm)	種類の記号
◎	異形鉄筋	D 16以下	※ S D 2 9 5 A ・ S D R 2 9 5
◎	異形鉄筋	D 19以上	※ S D 3 4 5 ・ S D R 3 4 5
・	小形鉄筋		・ S R 2 3 5

10 鉄筋の継手

接合方法	適用部位	備考
※ ガス圧接継手	柱、梁主筋の継手	D 19以上
※ 重ね継手	上記以外の継手	D 16以下
・ 機械式継手		

※ 重ね継手であっても、D 19以上の継手はガス圧接又は機械式継手とする。

A種 ※ A形 (別図各部配筋による) ・ B形 (各部配筋1.1) (各部配筋1.1) A種以外 ※ B形 (別図各部配筋による) ◎ 構造面による (各部配筋4.2) 壁筋部 ※ 別図各部配筋による ・ 構造面による (各部配筋5.3) 床筋部 ※ 別図各部配筋による ・ 構造面による (各部配筋5.3) 梁筋部 ※ 別図各部配筋による ( ・ H型 ・ M型 ・ MH型) (各部配筋7.1) ※ 建設技術評価制度「鉄筋コンクリート造の産業連携強材の開発」において評価を取得したものは、又は同等の性能を有するもの ・ 構造面による

その他 ※ 別図各部配筋による ・ 構造面による

1 レディミクストコンクリートの種類

2 セメントの種類

3 骨材

4 混和材

5 普通コンクリート

6 無筋コンクリート

7 高中コンクリート

8 マスコンクリート

9 打直し仕上げの種類

10 打継目地

11 型枠

1 施工管理技術者

2 鉄骨製作工場

3 鋼材の種類

該当	規格番号	規格名称等	種類の記号 (適用品には○印をつけること)
◎	JIS G3101	一般構造用圧延鋼材	SS400, SS490, SS540
	JIS G3106	溶接構造用圧延鋼材	SM400A, B, C, SM490A, B, C, SM490YA, YB, SM520B, C
	JIS G3114	溶接構造用耐熱性熱間圧延鋼材	SM400AN, AP, BP, CP, CM, SM490AN, AP, BP, CP, CM
	JIS G3136	建築構造用圧延鋼材	
	JIS G3138	建築構造用圧延鋼材	SM400A, B, SM490B
◎	JIS G3550	一般構造用軽量形鋼	SS400
	JIS G3553	一般構造用薄板軽量H形鋼	SM400
	JIS G3444	一般構造用炭素鋼管	STK400, STK490
	JIS G3466	一般構造用角形鋼管	STKH400, STKH490
	JIS G3475	建築構造用炭素鋼管	STKH400B, STKH400B, STKH490B
—	—	認定を受けた鋼材	

4 高力ボルトの区分

5 デッキプレート

6 溶接部の試験

7 耐火保護

8 アンカーボルトの埋込み工法

9 柱壁の均しモルタル

10 溶融亜鉛メッキ

1 建築用コンクリートブロックの種類

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (mm)
・ A種	11.7	1961
・ B種	6.37	—
・ C種	981	—
・ 鋼板不平等	2354	3530

2 A.L.Cパネル

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (mm)
・ 外壁パネル	11.7	1961
・ 内壁パネル	6.37	—
・ 鋼板不平等	981	—
・ 鋼板不平等	2354	3530

3 耐力壁の種類

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (mm)
・ A種	11.7	1961
・ B種	6.37	—
・ C種	981	—
・ 鋼板不平等	2354	3530

4 取付工法の種類

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (mm)
・ A種	11.7	1961
・ B種	6.37	—
・ C種	981	—
・ 鋼板不平等	2354	3530

5 耐力壁の種類

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (mm)
・ A種	11.7	1961
・ B種	6.37	—
・ C種	981	—
・ 鋼板不平等	2354	3530

6 出隅隅部の目録 (mm)

種類	単位荷重 (N/mm <sup>2</sup> )	厚さ (mm)
・ A種	11.7	1961
・ B種	6.37	—
・ C種	981	—
・ 鋼板不平等	2354	3530

Main specification table with multiple columns and rows, containing detailed technical requirements for various construction materials and methods. Includes sections for waterproofing, masonry, and metalwork.

9 樹皮製建築材
10 建築用金物
11 自動ドア開閉装置
12 重量シャッター
13 軽量シャッター(巻庫)
14 オーバーヘッドドア
15 ガラス
16 ガラスの窓め材
17 ガラスブロック積み
18 1 性能
19 2 メタルカーテンウォール
20 3 PCカーテンウォール
21 1 材料
22 2 防火材料
23 3 地高ごしらえ

4 床用塗料
5 防塵塗料
6 WUC
7 内装工事
8 1 接着剤
9 2 ビニル床シート
10 3 ビニル床タイル
11 4 特殊機能床材
12 5 ビニル巾木
13 6 ゴム床タイル
14 7 カーペット敷き
15 8 合成樹脂塗床
16 9 フローリング張り
17 10 畳敷き

11 セッコウボード、その他のボード及び合板張り
12 壁紙張り
13 断熱材
14 1 合板類のホルムアルデヒドの放散量
15 2 MDF及びパーティクルボード
16 3 遮音パネル材
17 4 遮音パネル材
18 5 遮音パネル材
19 6 遮音パネル材
20 7 遮音パネル材
21 8 遮音パネル材
22 9 遮音パネル材
23 10 遮音パネル材
24 11 遮音パネル材
25 12 遮音パネル材
26 13 遮音パネル材
27 14 遮音パネル材
28 15 遮音パネル材
29 16 遮音パネル材
30 17 遮音パネル材
31 18 遮音パネル材
32 19 遮音パネル材
33 20 遮音パネル材
34 21 遮音パネル材
35 22 遮音パネル材
36 23 遮音パネル材
37 24 遮音パネル材
38 25 遮音パネル材
39 26 遮音パネル材
40 27 遮音パネル材
41 28 遮音パネル材
42 29 遮音パネル材
43 30 遮音パネル材
44 31 遮音パネル材
45 32 遮音パネル材
46 33 遮音パネル材
47 34 遮音パネル材
48 35 遮音パネル材
49 36 遮音パネル材
50 37 遮音パネル材
51 38 遮音パネル材
52 39 遮音パネル材
53 40 遮音パネル材
54 41 遮音パネル材
55 42 遮音パネル材
56 43 遮音パネル材
57 44 遮音パネル材
58 45 遮音パネル材
59 46 遮音パネル材
60 47 遮音パネル材
61 48 遮音パネル材
62 49 遮音パネル材
63 50 遮音パネル材
64 51 遮音パネル材
65 52 遮音パネル材
66 53 遮音パネル材
67 54 遮音パネル材
68 55 遮音パネル材
69 56 遮音パネル材
70 57 遮音パネル材
71 58 遮音パネル材
72 59 遮音パネル材
73 60 遮音パネル材
74 61 遮音パネル材
75 62 遮音パネル材
76 63 遮音パネル材
77 64 遮音パネル材
78 65 遮音パネル材
79 66 遮音パネル材
80 67 遮音パネル材
81 68 遮音パネル材
82 69 遮音パネル材
83 70 遮音パネル材
84 71 遮音パネル材
85 72 遮音パネル材
86 73 遮音パネル材
87 74 遮音パネル材
88 75 遮音パネル材
89 76 遮音パネル材
90 77 遮音パネル材
91 78 遮音パネル材
92 79 遮音パネル材
93 80 遮音パネル材
94 81 遮音パネル材
95 82 遮音パネル材
96 83 遮音パネル材
97 84 遮音パネル材
98 85 遮音パネル材
99 86 遮音パネル材
100 87 遮音パネル材
101 88 遮音パネル材
102 89 遮音パネル材
103 90 遮音パネル材
104 91 遮音パネル材
105 92 遮音パネル材
106 93 遮音パネル材
107 94 遮音パネル材
108 95 遮音パネル材
109 96 遮音パネル材
110 97 遮音パネル材
111 98 遮音パネル材
112 99 遮音パネル材
113 100 遮音パネル材

14 FP複合板
15 吹込GW
16 1 フリーアクセスフロア
17 2 移動機仕切
18 3 トイレブース
19 4 階段止め
20 5 階段手すり
21 6 黒板及びホワイトボード
22 7 黒板表示
23 8 黒板表示
24 9 煙突ライニング
25 10 カーテンレール
26 11 カーテンボックス
27 12 アコーディオンドア
28 13 コーナービート
29 4 天井見切縁
30 5 点検口

材種	寸法	形式	受枠の許容差	蓋枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス (片側)
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鍍金製	・450×450 ・300×600	・一般形 ・遮断形 ・結露防止形	±0.5mm 以内	±0.5mm 以内	2.0mm 以内

一般形：パッキンを装着しないもの及びたつき防止用パッキンを装着したもの  
遮断形：ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したもの

材料の品質及び性能				
使用部位	材料	屋内外用	屋内用	
受枠材及び蓋枠材	アルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100 6063S-T5 表面処理は陽極酸化塗装被膜JIS H 8602のB又はJIS H 8601のAA15		
	ステンレス鋼	JIS G 4305の種SUS304 目地ともの場合の表面仕上げはH.L又は無処理仕上げ程度		
鋼製			鋼板又はJIS G 3313 SEHCの電気亜鉛めっき鋼板の類にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。 JIS G 3303 SEHCの亜鉛めっき鋼板及びJIS G 3313 SEHCの電気亜鉛めっき鋼板の類並びに鋼板等にJIS K 5621の一般さび止めペイントの防錆処理を行ったもの。	
	鋼製	二重蓋の場合の中蓋のみ適合 JIS G 5501 FC150 FC200		
目地材	鋼製	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801F、JIS H 3250 のC2902及びC3604B		
	ステンレス製	JIS G 4305、JIS G 4308のSUS304		
底板材及び受け枠材・蓋枠材のコーナーベース並びに底板補強材	ステンレス製板	JIS G 4305、JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	
	アルミニウム板	JIS H 4000のA1100PH24	-	
	鋼製	鋼板又はJIS G 3313 SEHCの電気亜鉛めっき鋼板の類にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。 JIS G 3303 SEHCの亜鉛めっき鋼板及びJIS G 3313 SEHCの電気亜鉛めっき鋼板の類並びに鋼板等にJIS K 5621の一般さび止めペイントの防錆処理を行ったもの。		
パッキン材		強化ビニール系ゴム、軟質塩化ビニール、クロロプレン、スポンジウレタン及びエチレンプロピレン等外枠及び蓋枠の材質、形状に適する弾力性、密着性及び気密性を有するものとする。		
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの又は同等の防錆性能を有するもの。		
取っ手		鋼製、ステンレス鋼製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス鋼製など堅牢な材質とする。合成樹脂製などはステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材等で表面を被覆し、衝撃による変形・割れが生じない構造のものとする。		
錠		鋼製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製（クロムめっき）の錠。		
開閉方式		錠錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする		
蓋の耐荷重性能		蓋中央部に荷重P=1,000Nにおいて残留たわみが蓋縁口の有効性の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。		

① ステンレス表し 17 コンロ合 ② 高円帽 19 水切欄 20 かつみマット	③ 形式 シングルシク ・ 寸法 L=1,650 ・ 形式 ④ 形式 L= 900 ・ 寸法
--	--

材種	受枠
※強化ビニール又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・ ・	※ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ・

材種： ※ステンレス製  
表面仕上げ： ※強化ビニール樹脂又はナイロン樹脂 ・ H.L仕上げ  
・ A種 ※ B種 (20.5.1) (表20.5.1)

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・ 垂直方向 ・ 水平方向 ・ ・	※ 完全 (全貫通型) ・	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	

目地	
内 壁	外 壁
目地材 目地寸法 (mm)	シーリング材 (見張り部のみ) ※ 幅 2.0 × 深さ 1.0
	シーリング材 (見張り部のみ) ※ 幅 2.0 × 深さ 1.0

⑤ 止水板

25 エキスパンション  
ジョイント金物

26 目地枠

27 両示板

・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張式 ⑥ F 150×5
製造所： 材 質： ・ アルミニウム ・ ステンレス 焼付塗装 クリアランス： ・ 5.0 ・ 10.0 ・ 15.0 耐火性能： ・ 有り ( ) ・ 無し
製造所： 異種床材間の目地材はSUS製とし、 $\square$ 型巾40mm×高さ20mm、 $\bigcirc$ 型アンカー付とし、 $\square$ 型内部はモルタル詰めとする。
材 種： 枠-アルミ製、板-合金板+マグネットシート (マグネット、ピン挿入タイプ) W900×H900程度

28 隔敷表示板  
⑦ 消火器ボックス  
⑧ L字手摺  
31 ハンドホール  
32 緑石  
33 アスファルト  
34 標名板  
43 ロールスクリーン  
44 カーテン  
45 芝

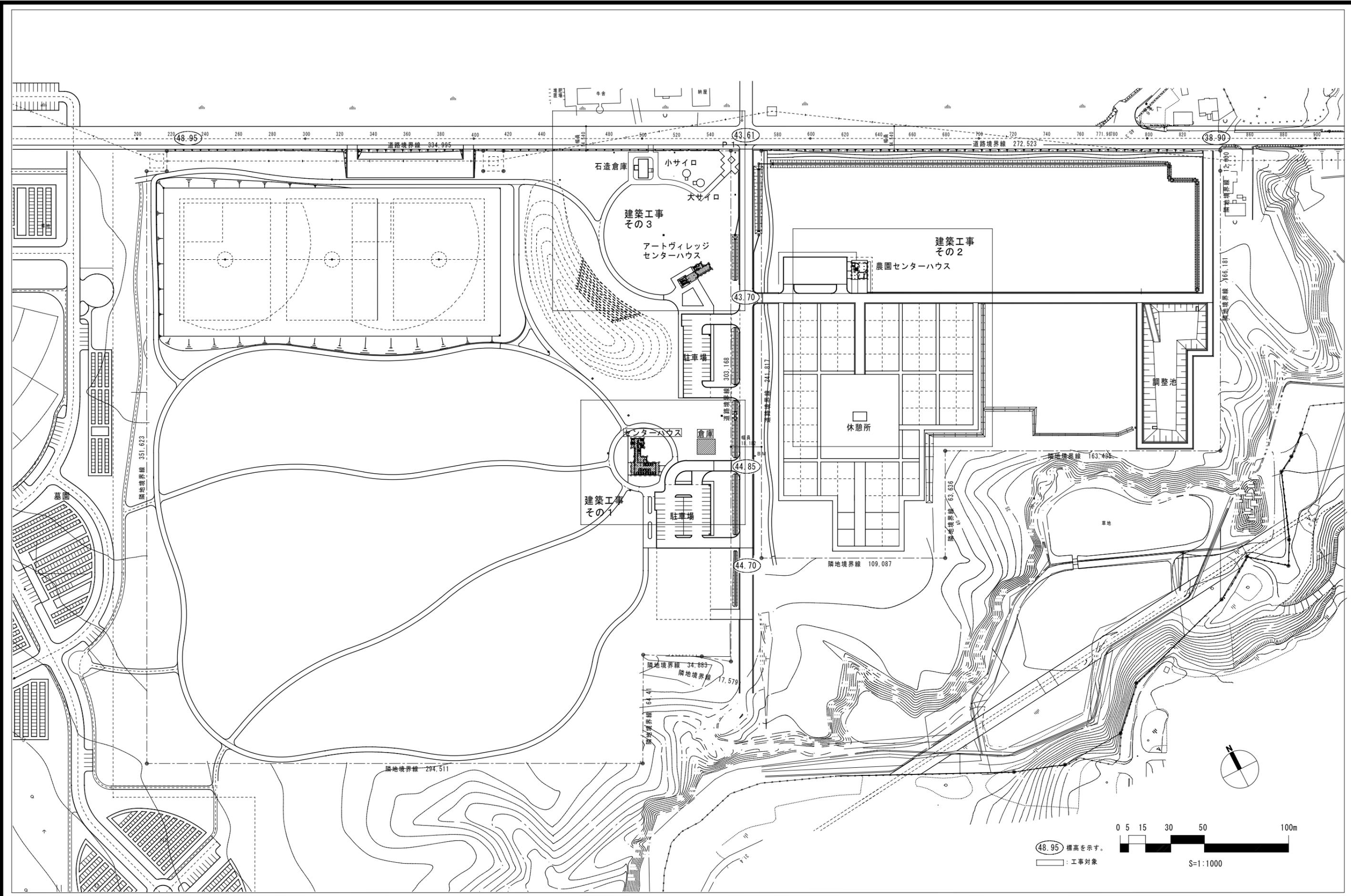
材種： ステンレス製 (SUS304) H125×W210程度、各開用  
材種： ステンレス製焼付塗装、半埋込タイプ 扉・樹脂製、サイン、文字入  
形 状： H896×W307×D167  
SUS 304 (塩化被膜) 38φ 600×700  
鉄蓋 600φ RZK-60同等品以上  
32 緑石  
※ PC 120×120×600  
※ 再生アスファルト t130  
※ SUS HL t30、250角  
AW-1用 W10019×H2190  
トーン マイテック (チューンタイプ) セット程度、5分割  
サンゲツ プレーンCK8534-CK8543程度  
2倍ひだ、両開き  
種子吹き付け

21 排水網及びふた	排水工事	ふたの種類 (21.2.2)												
		<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 式</th> <th>耐 荷 重</th> <th>設置 所</th> </tr> <tr> <td>鉄製マンホール</td> <td>※ 水封形</td> <td>・ MHB ・ MHA ・ MHD</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製グレーチング</td> <td>※ 受枠付 ・ 受枠なし ・ 受枠共 溶融亜鉛めっき</td> <td>・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 ・ 歩道用 (※ 欄目 ・ 一般)</td> <td></td> </tr> </table>	種 類	形 式	耐 荷 重	設置 所	鉄製マンホール	※ 水封形	・ MHB ・ MHA ・ MHD		鋼製グレーチング	※ 受枠付 ・ 受枠なし ・ 受枠共 溶融亜鉛めっき	・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 ・ 歩道用 (※ 欄目 ・ 一般)	
種 類	形 式	耐 荷 重	設置 所											
鉄製マンホール	※ 水封形	・ MHB ・ MHA ・ MHD												
鋼製グレーチング	※ 受枠付 ・ 受枠なし ・ 受枠共 溶融亜鉛めっき	・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 ・ 歩道用 (※ 欄目 ・ 一般)												

22 舗装工事	2 凍土材料	凍土抑制層用材料 (22.2.3) ※ 再生クラッシュラン (80mm級) ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 切込砂利 (80mm級) 又は砕石 (80mm級) 路床の凍土用材料 (22.2.3) (表22.2.1)
	3 路床土の支持力比 (CBR) 試験	路床土の支持力比 (CBR) 試験 (22.2.5) ※ 行う ※ 行わない
	4 路床締固め度の試験	路床締固め度の試験 (22.2.5) ※ 行う ・ 行わない
	5 路床材料	路床材料 (22.3.3) (表22.3.3) ※ 再生クラッシュラン (40mm級) ・ 切込砂利 (40mm級) 又は切込砕石 (40mm級) ・ 再生加熱アスファルト混合物の種類及び標準配合
	6 アスファルト舗装	アスファルト舗装
	7 区画線	※ 溶融式 巾15cm (22.11.1) ・ 塗布式 加熱式
	8 ブロック系舗装	インターロッキングブロック舗装 (22.8.2) 種 類： ※ 標準品 形 状： ・ 長方形 ・ 正方形 ・ 六角形 厚 さ (mm)： ・ 60 ・ 80

23 植栽工事	1 植栽地の試験	酸度試験： ※ 行う ・ 行わない (23.1.3) 塩分試験： ※ 行う ・ 行わない (23.1.3) ※ 行う ・ 行わない (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)
	2 植栽基礎の整備	樹木の樹高 (m) 有効土層 (cm) 工法 範囲
		・ 1.2以上 ※ 1.00 ・ ※ A種 見張り部分
		・ 7~1.2 ※ 8.0 ・ ・ B種 ※ 植栽部分
		・ 3~7 ※ 6.0 ・ ・ C種 ※ 隠蔽
		・ 3以下 ※ 5.0 ・ ・ D種
		※ 芝、地被類 ※ 2.0 ・ ※ 隠蔽
	3 土壌改良材	・ 適用する (施工箇所) (23.2.3, 23.2.4) 材 質： ・ パーク堆肥 ・ 発酵下水泥コンポスト
	4 植込み用土	※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)
	5 支柱材	種 類： ※ カラ松の焼き丸太 ・ 竹 ・ (23.3.2) 形 状： ・ 湯入柱形 ・ 角形 ・ 八角形 (23.3.3) ・ 布掛け ・ 角パイ支柱 ・ 地下埋設型支柱
	6 幹巻き用材料	※ 杉皮 ・ 幹巻き用テープ (23.3.2)
	7 芝張り等	芝張りの種別 ※ こうらい芝 ・ 野芝 (23.4.2) 吹き付けは種別種子 種類 ・ 洋芝類 ・ クローバー 量 ※ g/m <sup>2</sup>
	8 樹名板	地盤も樹種 (樹物名)、芽立数、コンテナ径、単位面積当たりのコンテナ数は図示による。 芝張りの工法： 平地 ※ べた張り ・ 目地張り (23.4.2) 切土法 ※ べた張り 盛土法 ※ 筋芝張り 芝及び地被類の植栽期間 ※ 1年 (23.4.7)
	9 新植、移植樹木、 芝等の植栽	※ 合成樹脂製 (・ 立立式 ・ 樹木添架式) (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) 新植 (芝張り、吹き付けは種及び地被類を含む) の植栽 ※ 引き渡しの日から1年 移植の植栽処理： ※ 引き渡しの日から1年

24 再生クラッシュラン  
水質ポンプ



外部仕上表

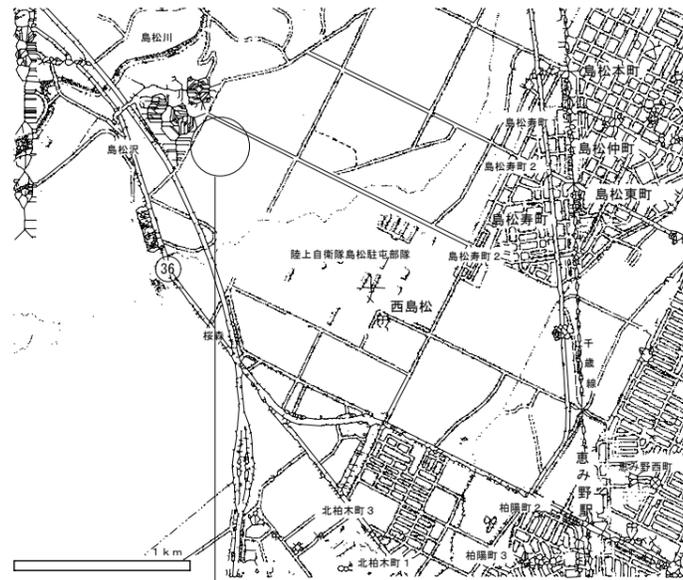
基礎	F P 板t30打込みの上、樹脂モルタルt20	ポーチ	コンクリート金コテ 床目地カッター w5×h5、@3.600×3.600程度	断熱材 外壁	グラスウール t100 24kg 外側透湿防水シート(タイベック同等品) 内側防湿シート(ポリフィルム t0.1)
外壁	構造用合板(OSB)t9、透湿防水シートt0.2、通気胴縁45×18、木調サイディング張 t16		コーナー:ノンスリップSUS金物	小屋裏	グラスウール吹込 t200 18kg 防湿シート(ポリフィルム t0.1) 直天:GW t50 32kg 斜め天井:グラスウール敷込t=50、32kg、透湿防水シート(タイベック同等品)
軒天井	フレキシブル板 t6 素地、外周軒裏換気ガラリ・その他は塩ビ製見切り	建具	木製建具、アルミ製建具	その他	土間下:F P 板 t50打込、敷込 防湿シート(ポリフィルム t0.15) 立上り:F P 板 t30打込、ラス入り樹脂モルタルt20
屋根	垂木:60×45@450、コンパネt12、透湿防水シート、通気胴縁:24×45@450 耐水合板t12、アスファルトフィング940、ガルバリウム鋼板t0.4 防水蟻掛き けらば:ガルバリウム鋼板t0.4包み			外部フード	アルミ製セルフド150Φ(アルミ色) 防虫網付(+換気孔150Φ) 10ヶ所

内部仕上表

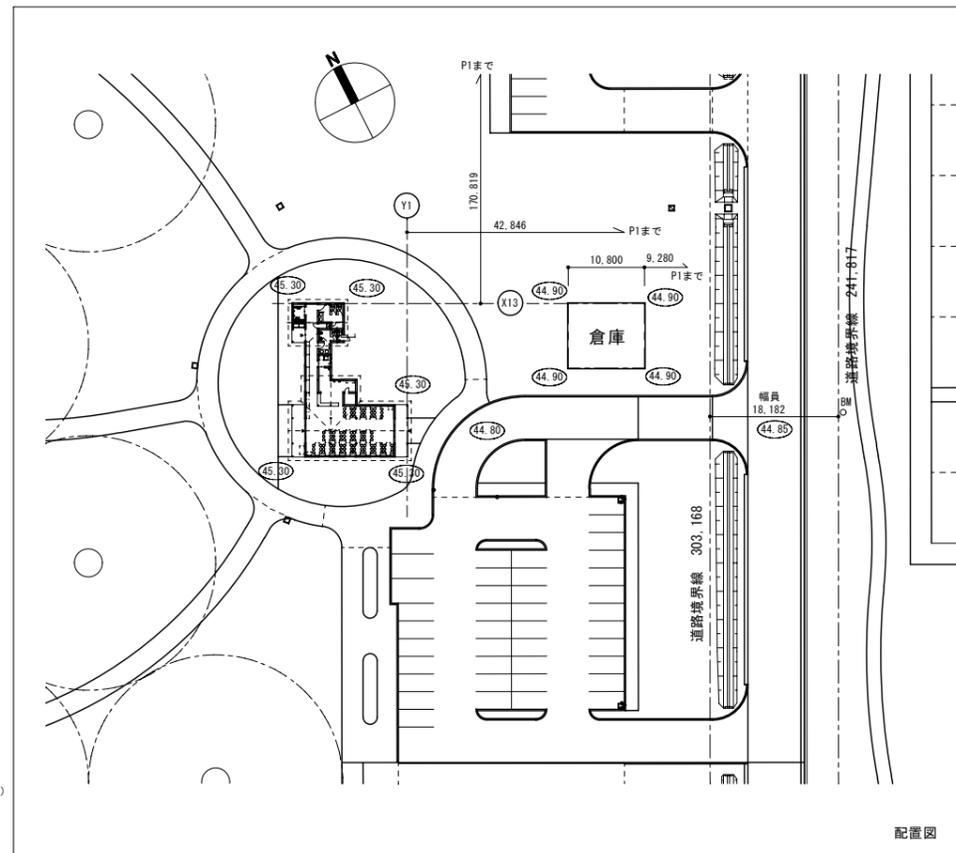
室名	床	巾木	木製巾木 t9 WUC	壁	タテ105×45@450 ヨコ45×18@450 ボードのジョイントは突付け	天井	廻り縁:塩ビ製 ボードのジョイントは突付け	備考	天井高
休憩スペース	コンクリート金コテ 床目地カッター@3.600×3.600程度	木製巾木 H=100		OSB板t9 素地 目透し貼 一部、コンクリート打放し		シナ合板(難燃)t5.5 素地		換気孔150Φ	直天
事務室	コンクリート金コテ 床目地カッター@3.600×3.600程度	木製巾木 H=100		OSB板t9 素地 目透し貼 一部、コンクリート打放し		シナ合板(難燃)t5.5 素地		カウンター、換気孔150Φ	2.400
更衣室	コンクリート金コテ	木製巾木 H=100		OSB板t9 素地 目透し貼 一部、コンクリート打放し		シナ合板(難燃)t5.5 素地		換気孔150Φ	2.400
給湯室	コンクリート金コテ	木製巾木 H=100		石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し		化粧けい酸カルシウム板t6		流し台L=1,650、吊戸棚L=900、換気孔150Φ	2.400
通路	コンクリート金コテ 床目地カッター@3.600×3.600程度	木製巾木 H=100		OSB板t9 素地 目透し貼 一部、コンクリート打放し		シナ合板(難燃)t5.5 素地		棚、換気孔150Φ	2.400
SK	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100		石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し		化粧けい酸カルシウム板t6		ライニング、掃除用具掛け ステンレス製 2ヶ所	2.400
男子便所	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100		石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し		化粧けい酸カルシウム板t6		トイレブース、L型手摺:軟質塩ビパイプ40Φ 各ブース×1、洗面化粧台、ライニング 換気孔150Φ	2.400
女子便所	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100		石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し		化粧けい酸カルシウム板t6		トイレブース、L型手摺:軟質塩ビパイプ40Φ 各ブース×1、洗面化粧台、換気孔150Φ	2.400
多目的便所	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100		石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し		化粧けい酸カルシウム板t6		固定手摺・可動手摺:軟質塩ビパイプ40Φ、洗面台(設備)、ライニング、換気孔150Φ	2.400
従業員用便所	ノンスリップ床シートt2.5	ビニル巾木 H=100		石こうボードt9.5下地、化粧繊維強化セメント板t5 一部、コンクリート打放し		化粧けい酸カルシウム板t6		L型手摺:軟質塩ビパイプ40Φ、換気孔150Φ	2.400

化粧繊維強化セメント板t5 (A&MスタンドF#300台所用)  
NM-8577

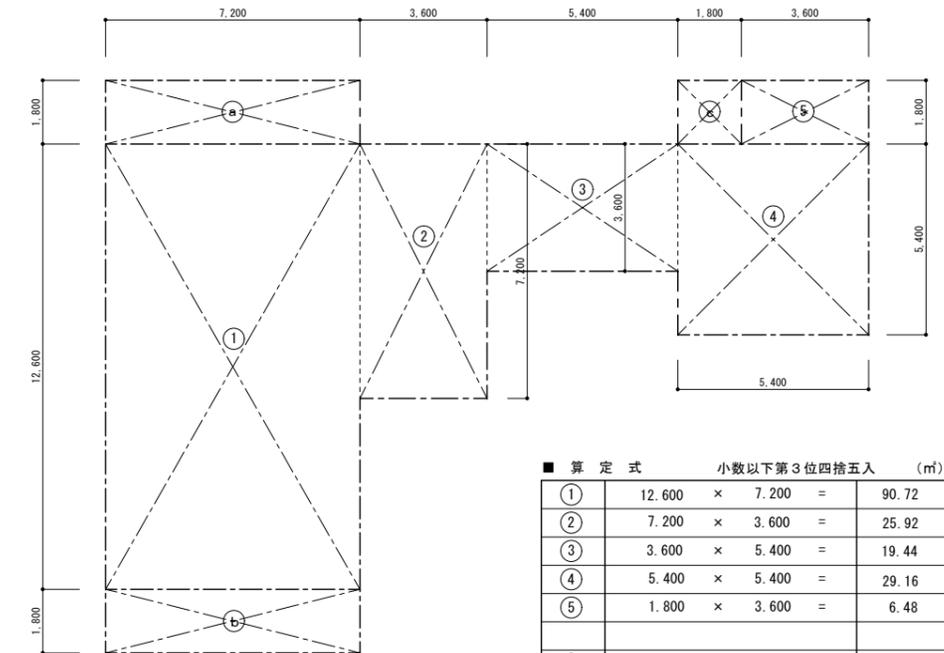
化粧けい酸カルシウム板t6 (A&Mスタンド#400)  
NM-9144



恵庭市西島松268-1, 268-2, 272-1, 273-1,  
273-3, 274-1, 274-3, 274-4, 274-6, 275, 276-1, 276-2, 278



配置図



■ 算定式 小数以下第3位四捨五入 (㎡)

①	12.600 × 7.200 =	90.72
②	7.200 × 3.600 =	25.92
③	3.600 × 5.400 =	19.44
④	5.400 × 5.400 =	29.16
⑤	1.800 × 3.600 =	6.48
a	1.800 × 7.200 =	12.96
b	1.800 × 7.200 =	12.96
c	1.800 × 1.800 =	3.24

■ 基準法による面積 (㎡)

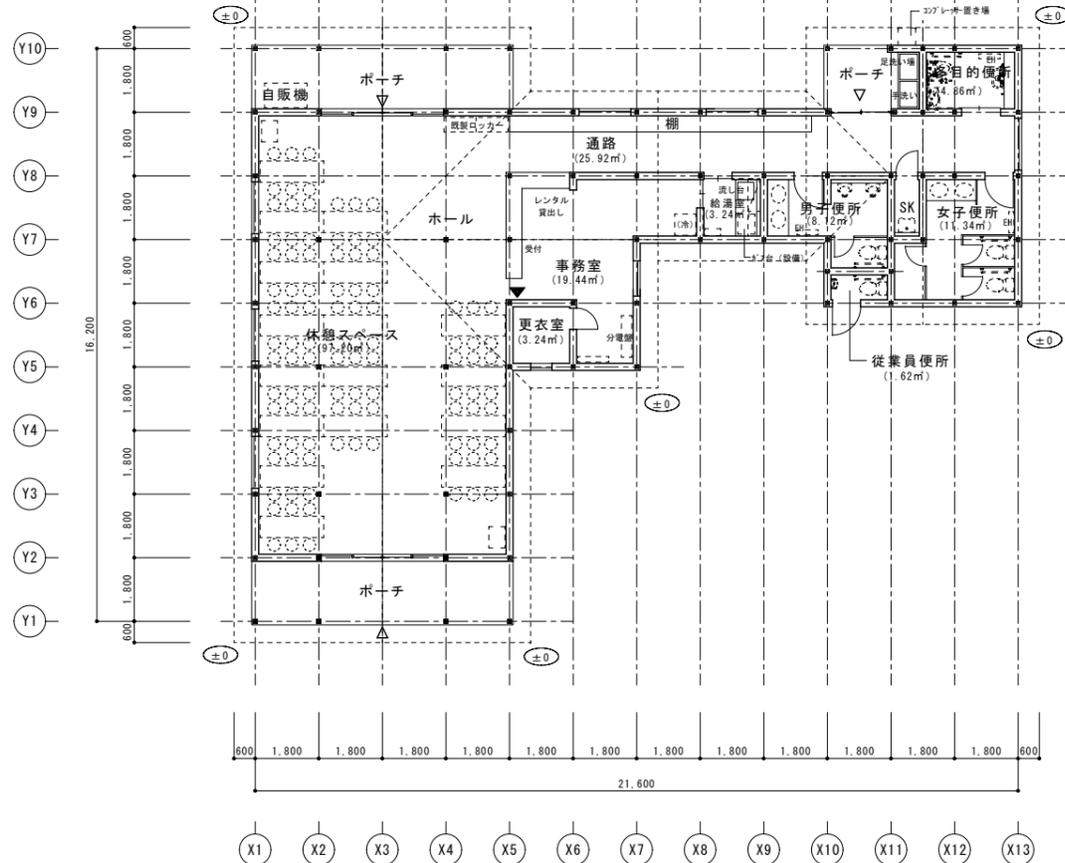
建物全体	1 F ①+②+③+④+⑤	= 171.72	171.72
自動車庫等の部分			0
延べ面積 (容積対象床面積)	1 F		171.72
建築面積	1 F 床面積+(a)+(b)+(c)	= 200.88	200.88

敷地面積(敷地1)  
122.519.50(㎡)

平均G.L.の算出  
45.30を基準点とする。  
周長:83.60(m)  
基準点より上の面積  
0.15×27.0+0.5×(0.15+0.20)+7.4+0.5  
+(0.20+0.15)×25.4+0.5+0.15+16.4+0.5=8.995(㎡)  
よって  
8.995/83.60=0.1076=107.6(mm)→108  
平均G.L.=設計G.L.+108(mm)

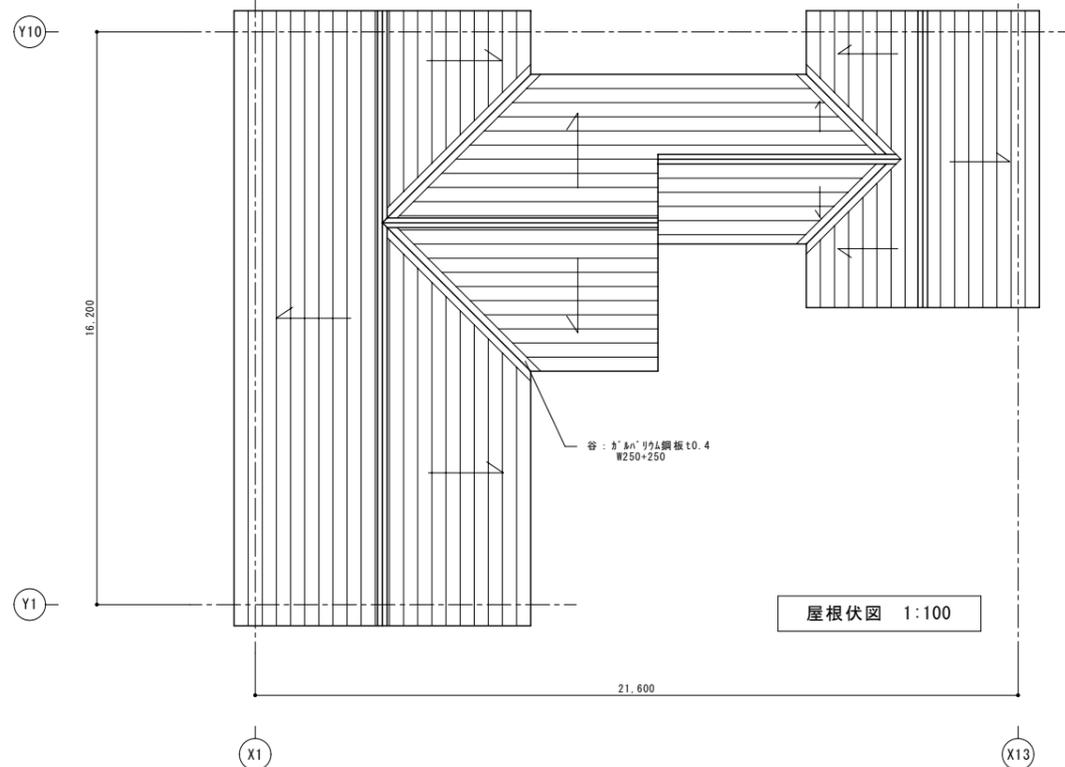
センターハウス(冬期使用せず)

補助対象

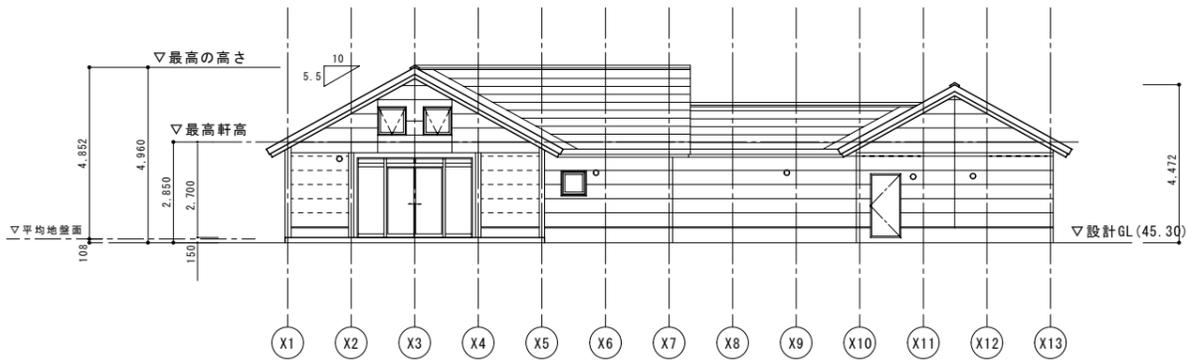


平面図 1:100

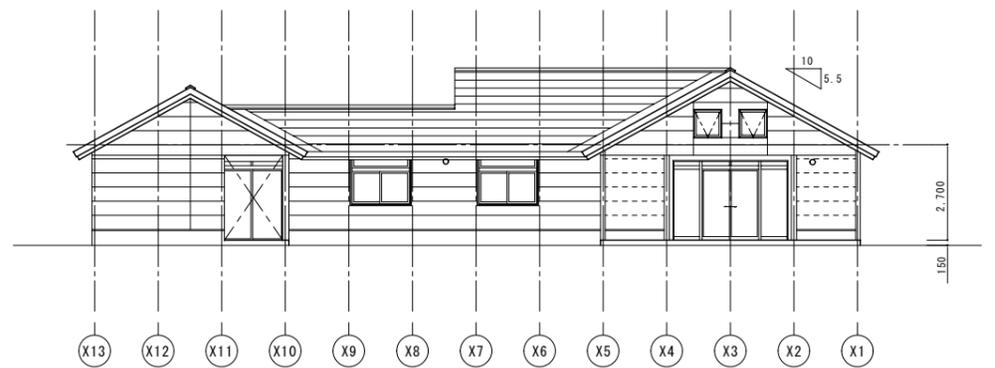
▼ 消火器 (半埋込み型)



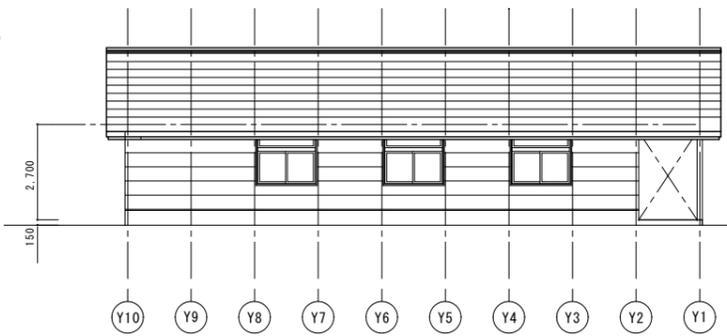
屋根伏図 1:100



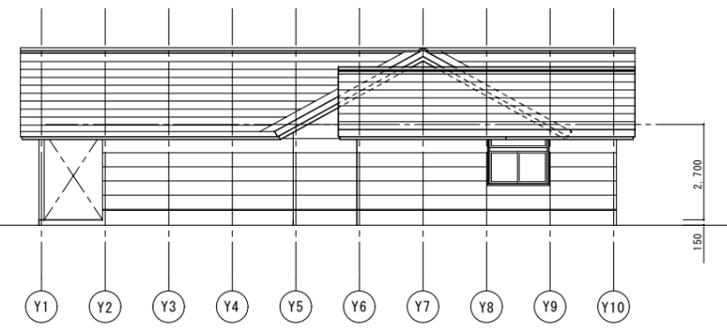
東立面図 1:100



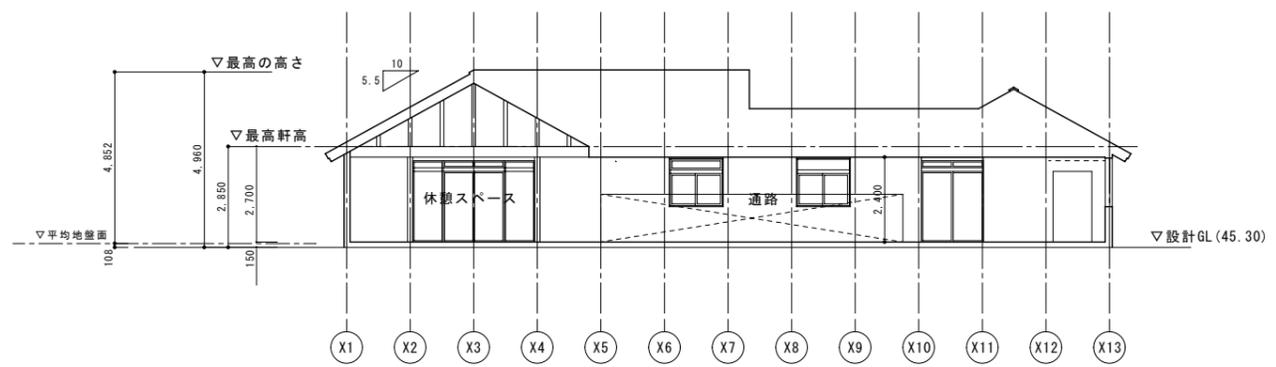
西立面図 1:100



南立面図 1:100

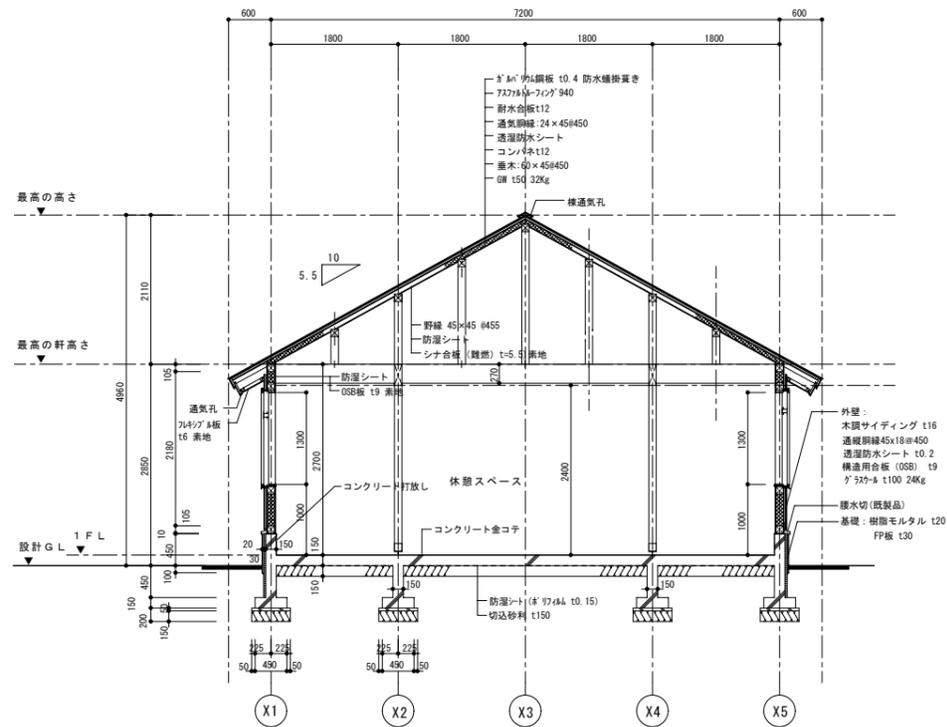


北立面図 1:100

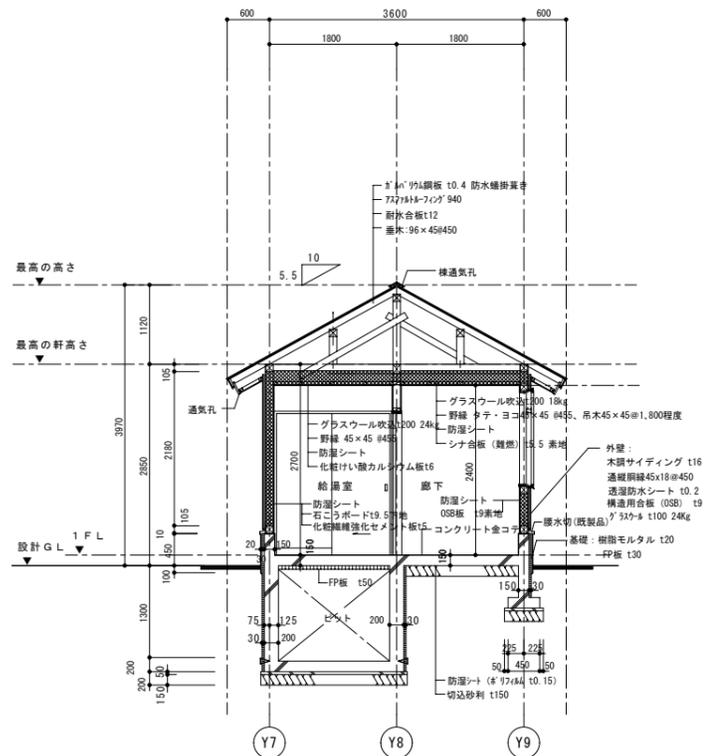


断面図 1:100

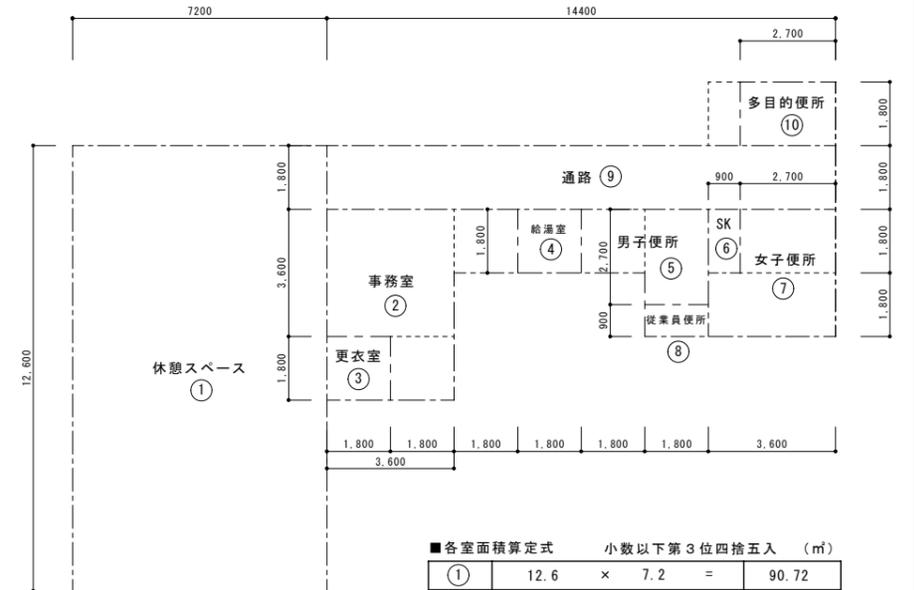
○ 換気孔+セルフド150φ



矩計図 A-A 1:50



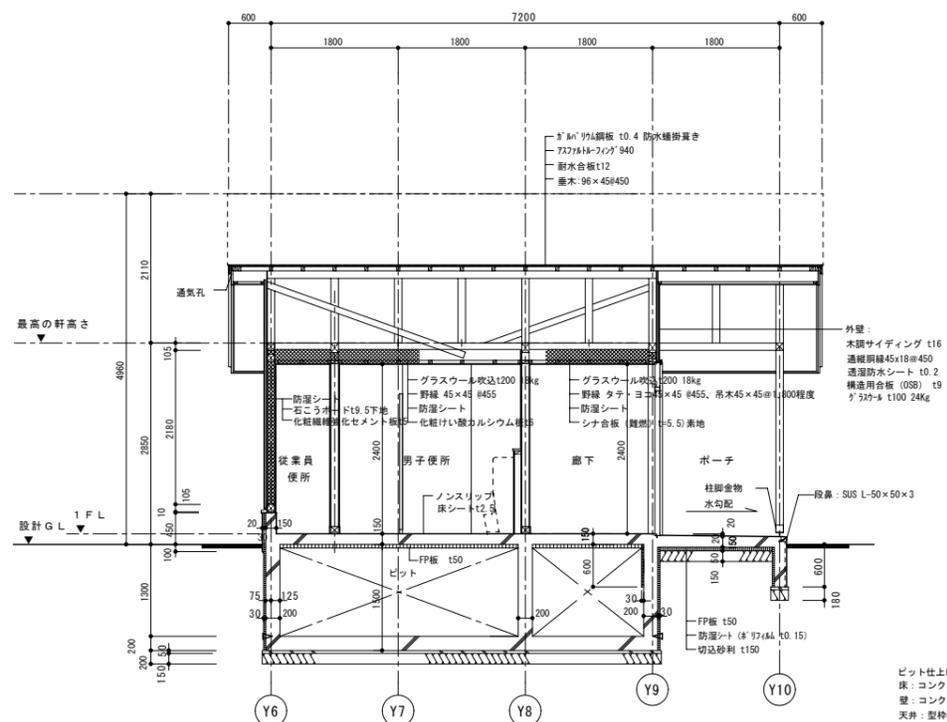
矩計図 C-C 1:50



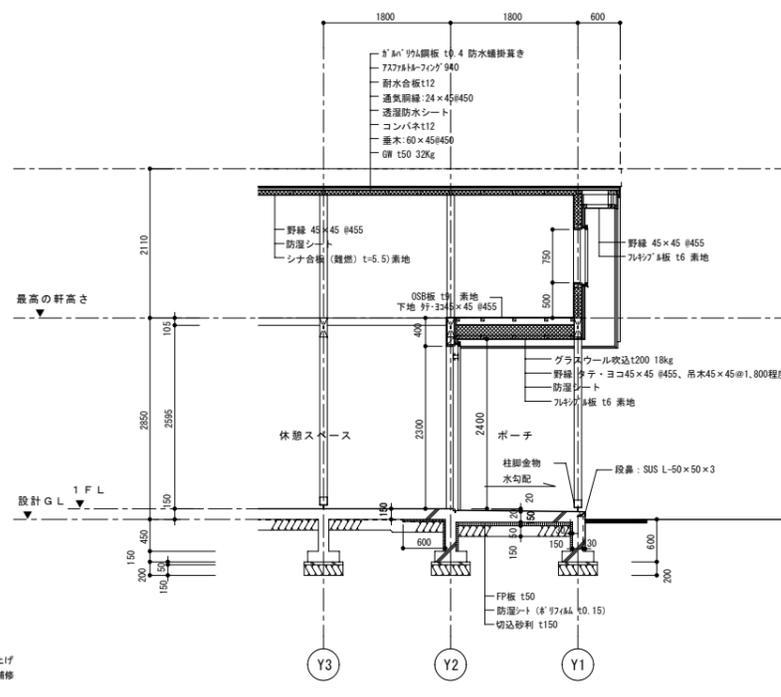
■各室面積算定式 小数以下第3位四捨五入 (㎡)

番号	算定式	面積 (㎡)
①	12.6 × 7.2 =	90.72
②	3.6 × 3.6 + 1.8 × 1.8 × 2 =	19.44
③	1.8 × 1.8 =	3.24
④	1.8 × 1.8 =	3.24
⑤	1.8 × 1.8 + 2.7 × 1.8 =	8.10
⑥	1.8 × 0.9 =	1.62
⑦	3.6 × 1.8 + 1.8 × 2.7 =	11.34
⑧	1.8 × 0.9 =	1.62
⑨	14.4 × 1.8 =	25.92
⑩	1.8 × 2.7 =	4.86

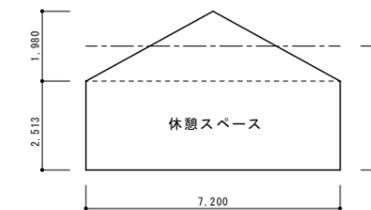
(170.10)



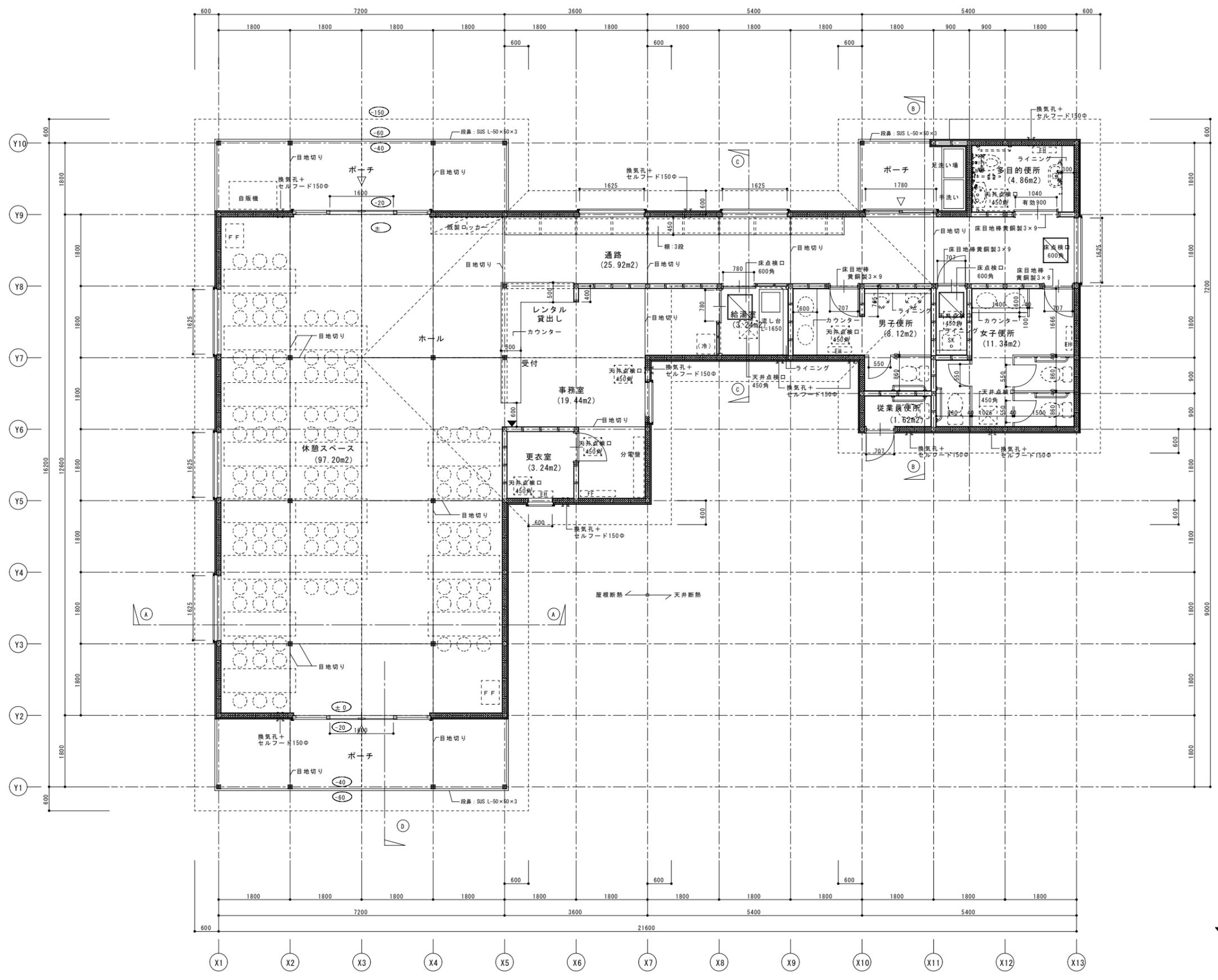
矩計図 B-B 1:50



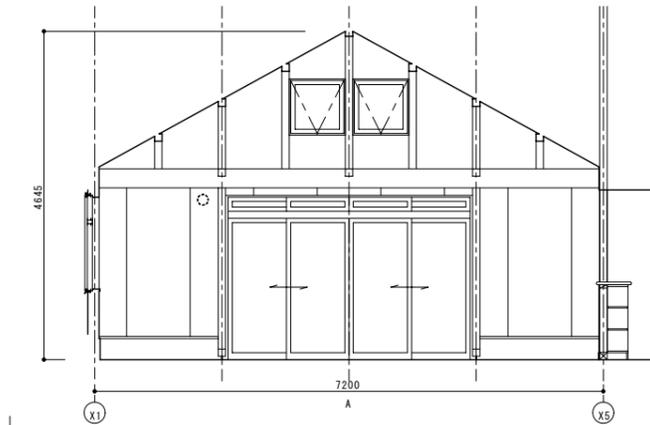
矩計図 D-D 1:50



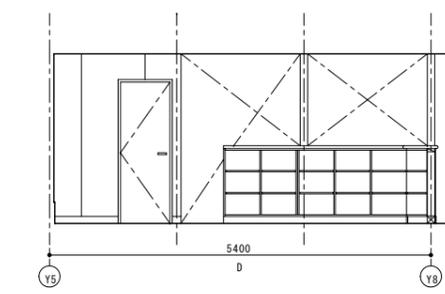
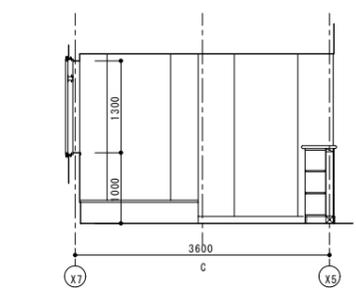
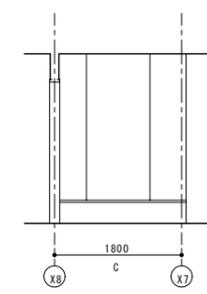
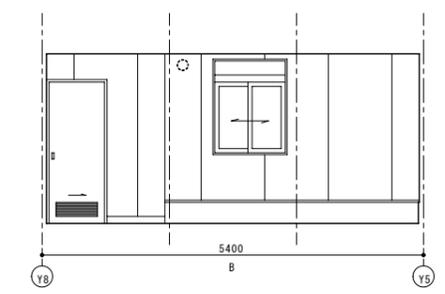
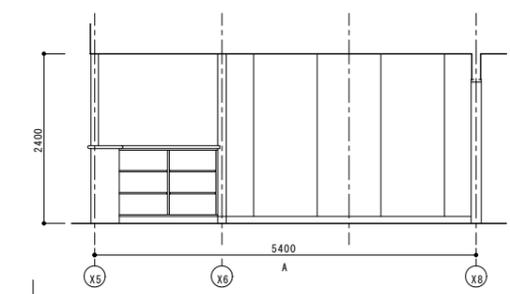
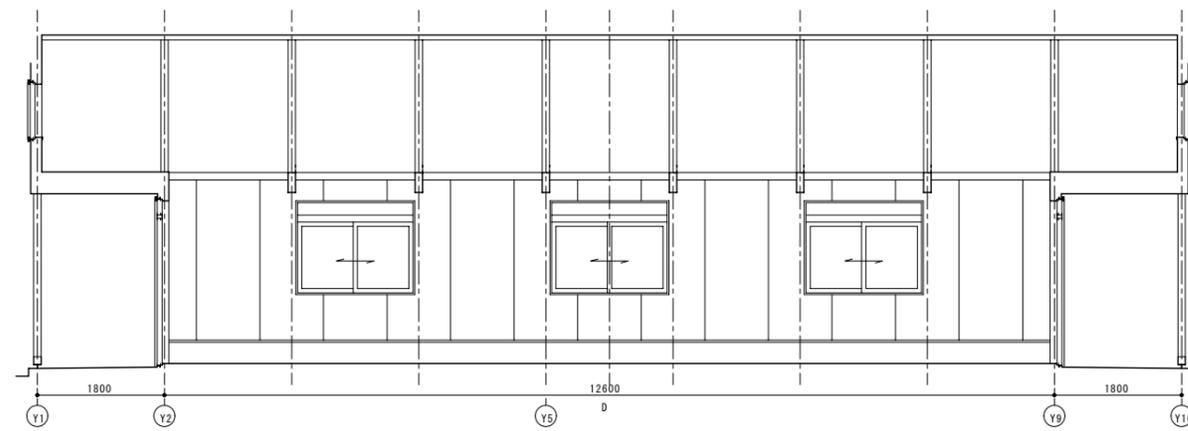
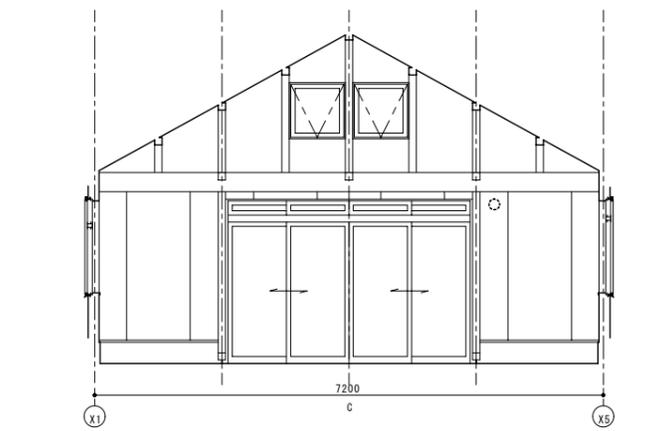
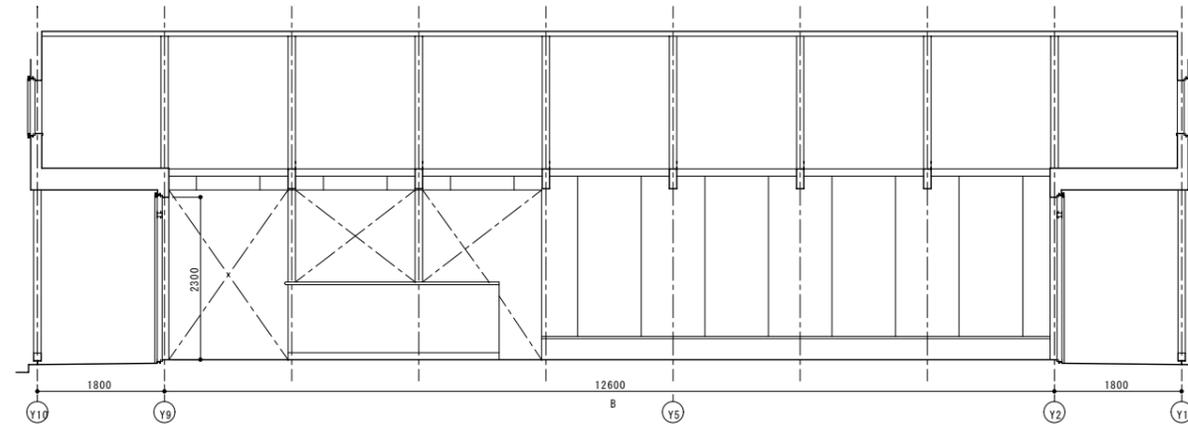
休憩スペース  
7.2 × 2.513 + 7.2 × 1.98 × 0.5 = 25.22  
平均天井高 25.22 / 7.2 = 3.503



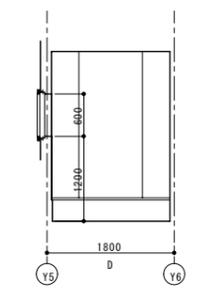
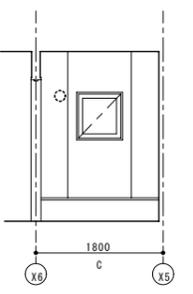
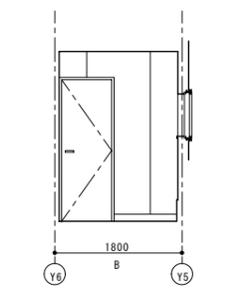
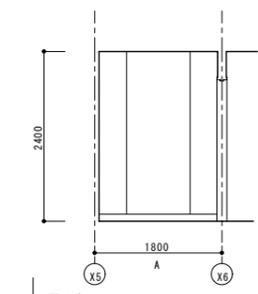
▼ 消火器ボックス (半埋込み型)



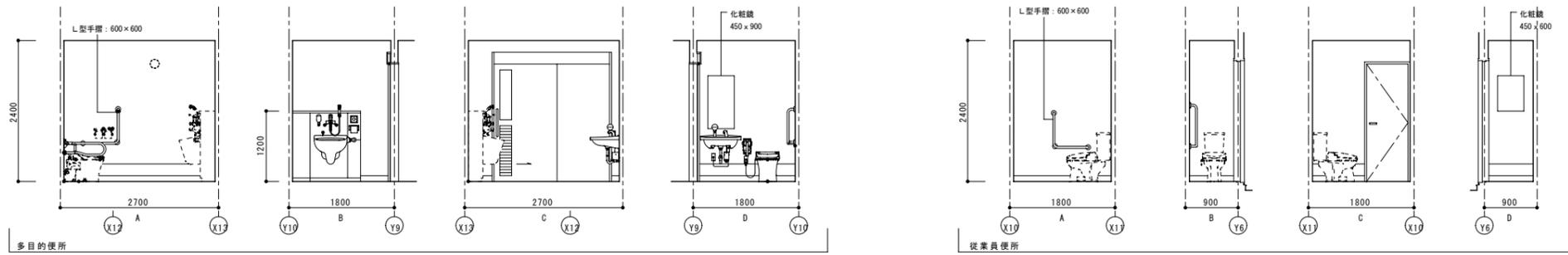
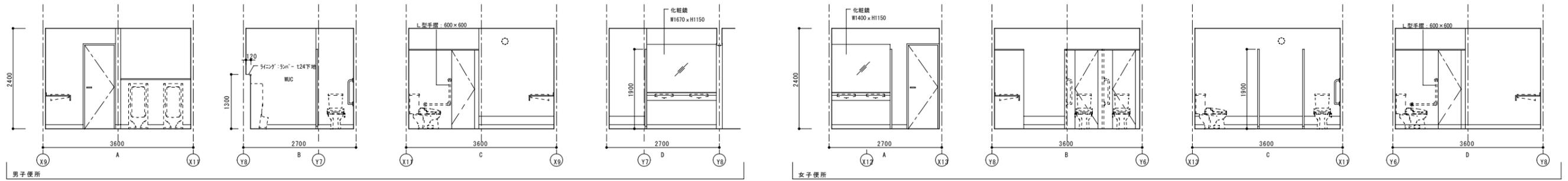
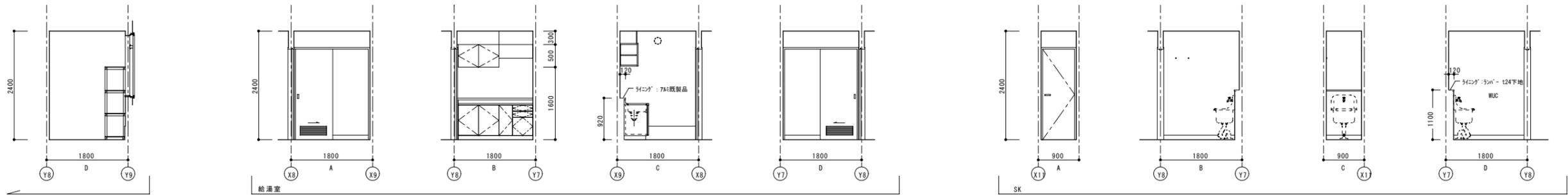
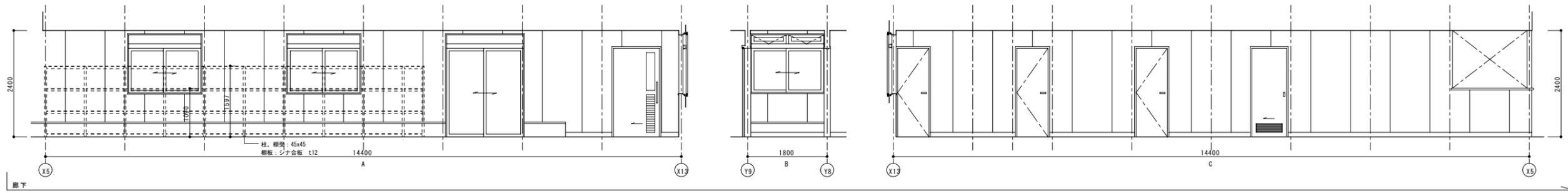
休息スペース

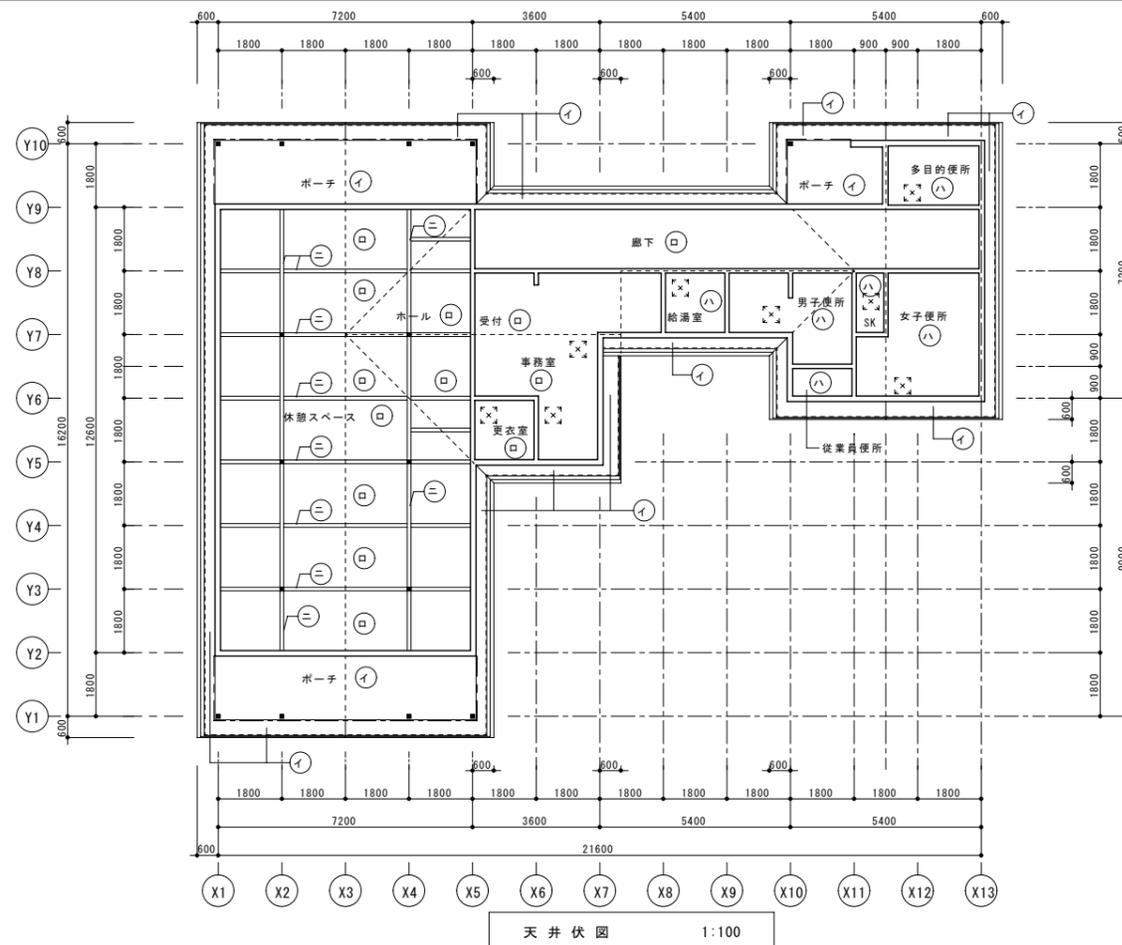
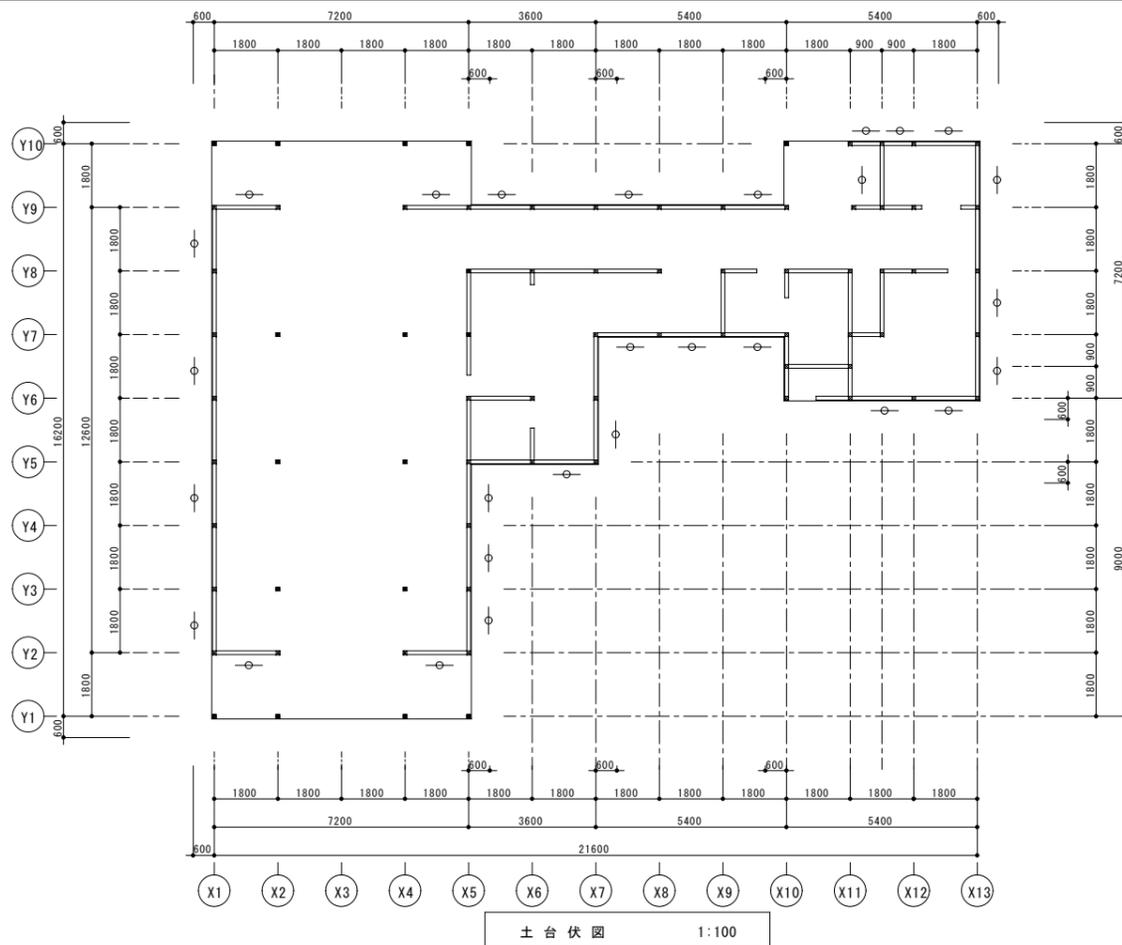


事務室

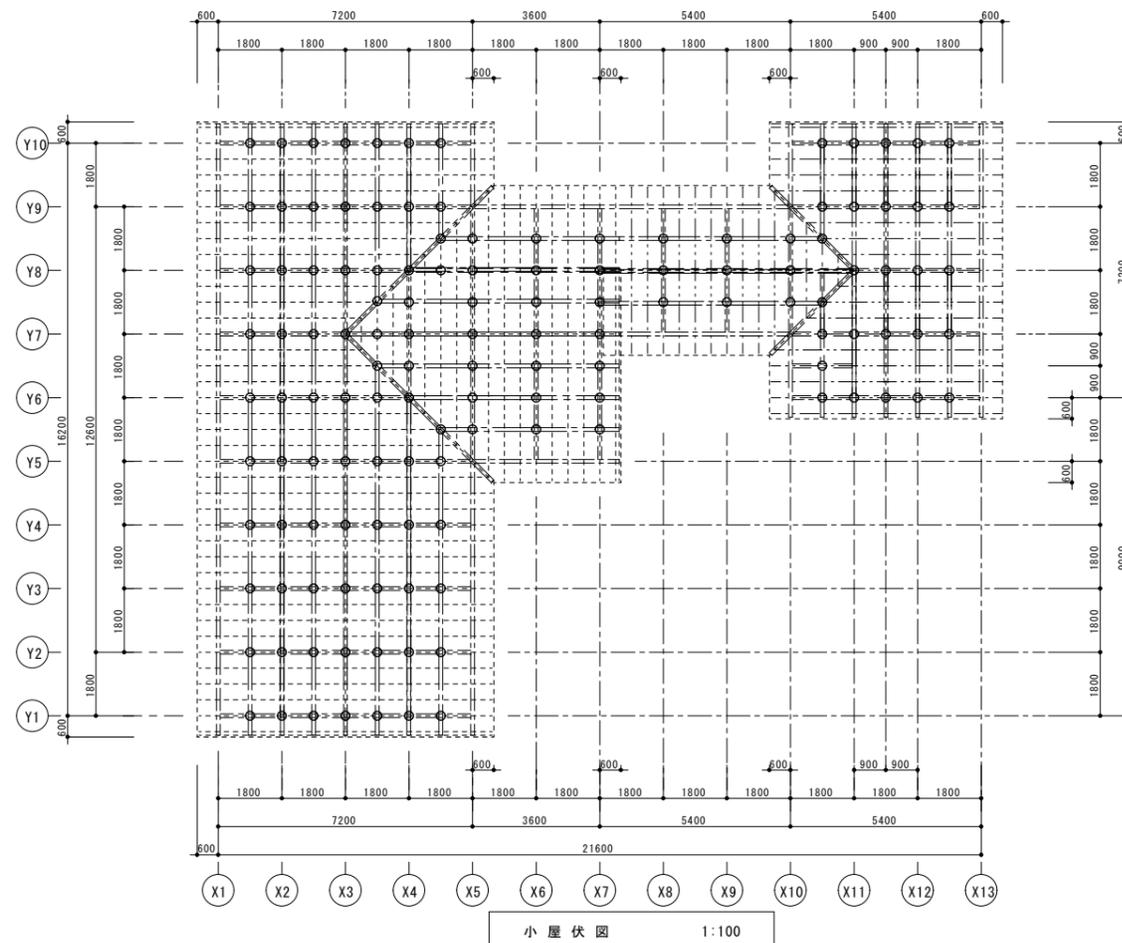
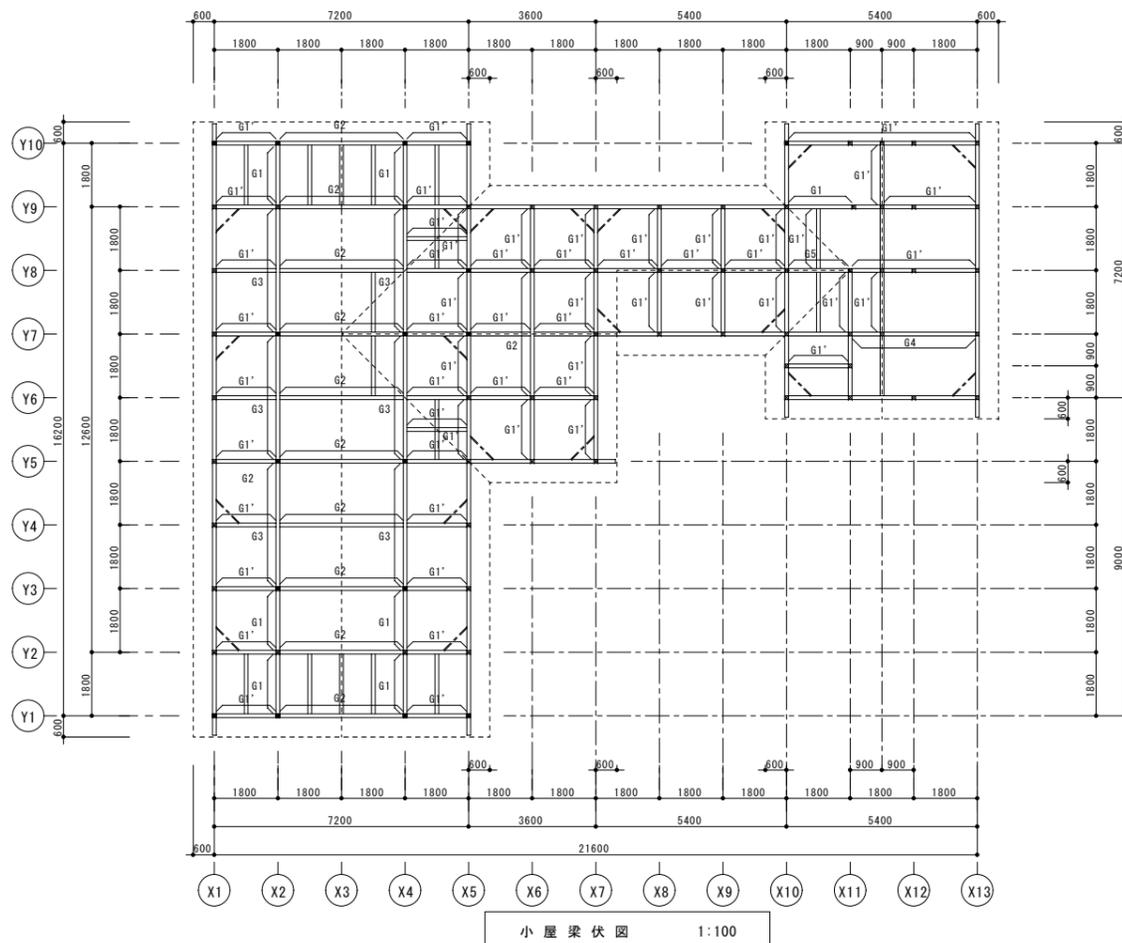


更衣室



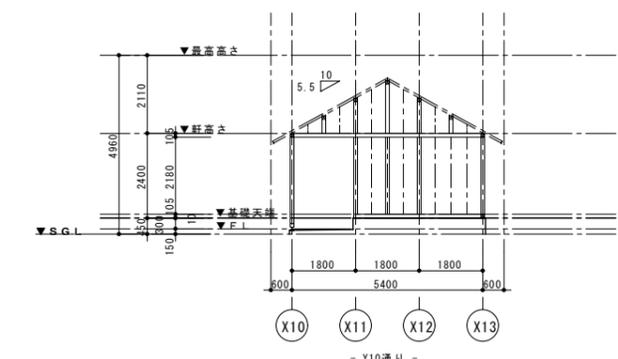
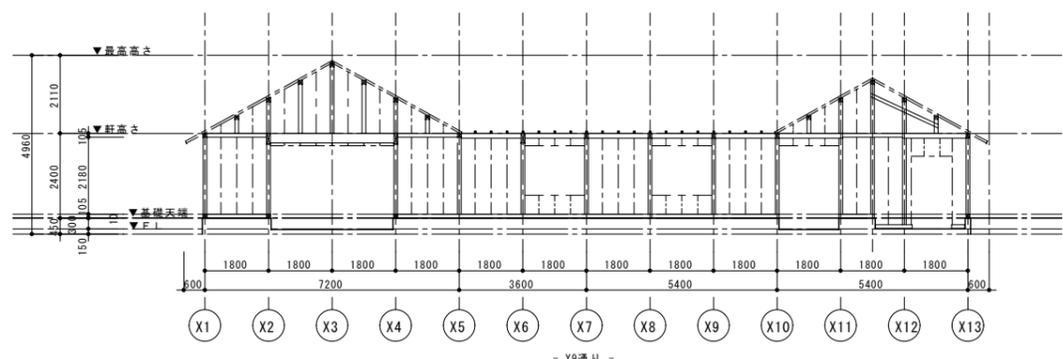
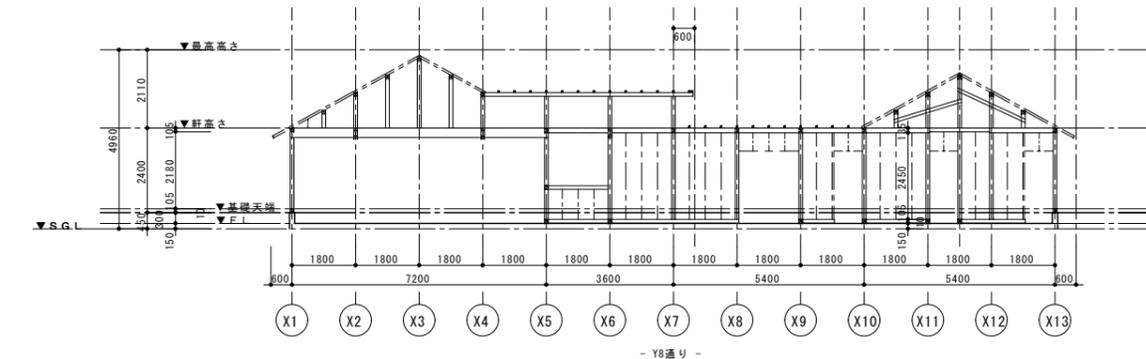
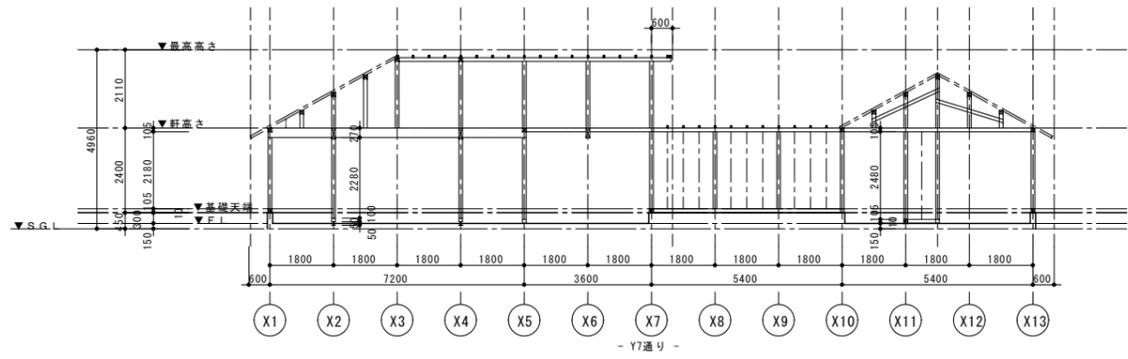
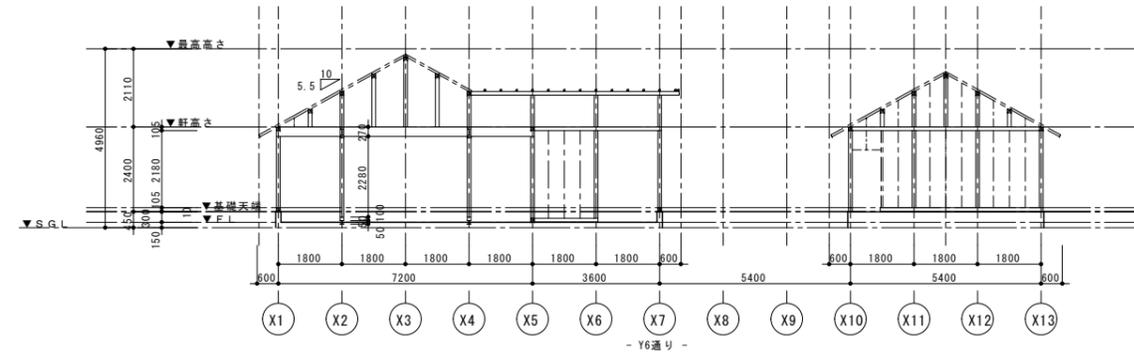
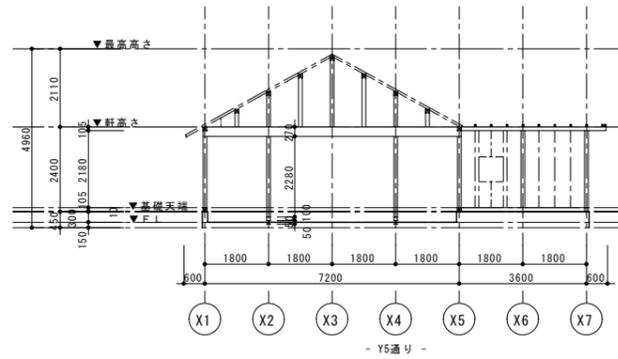
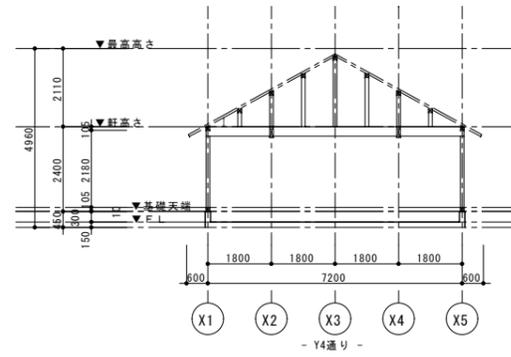
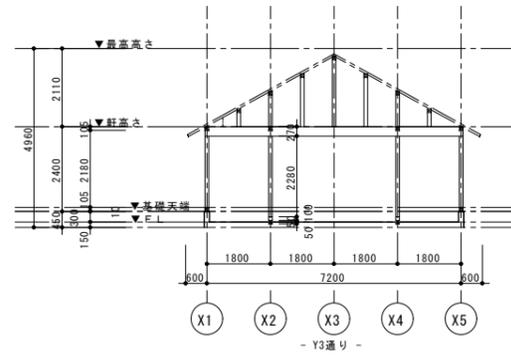
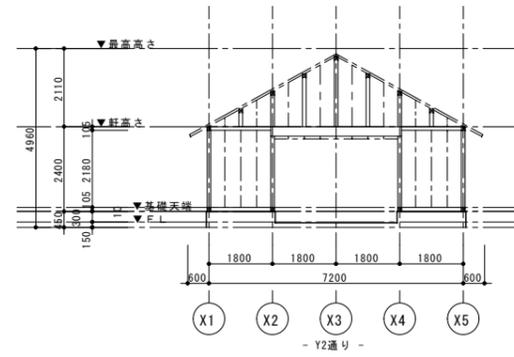
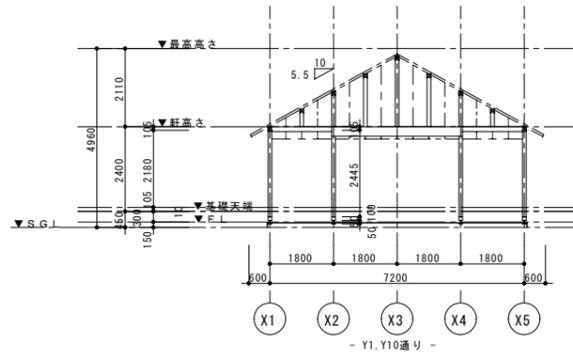


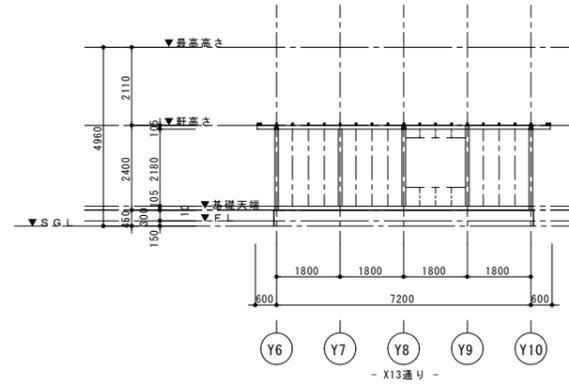
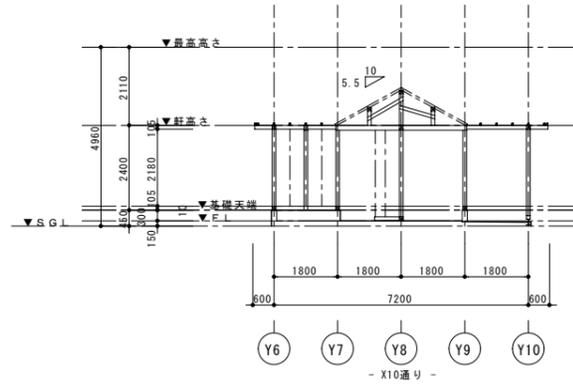
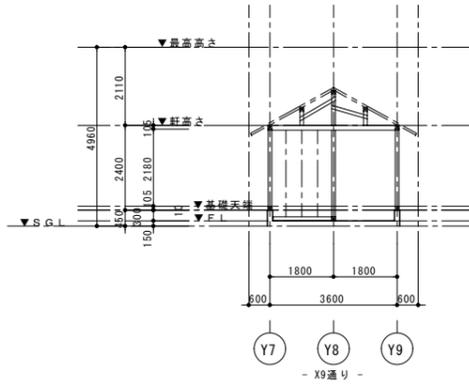
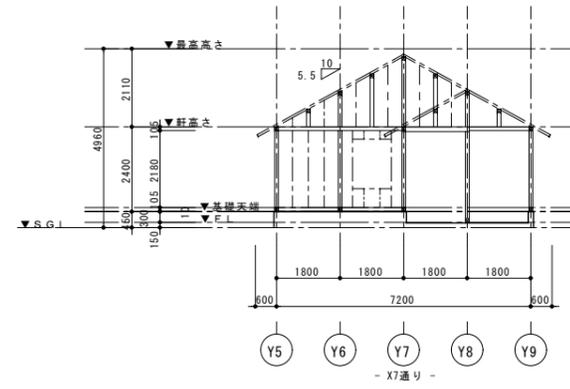
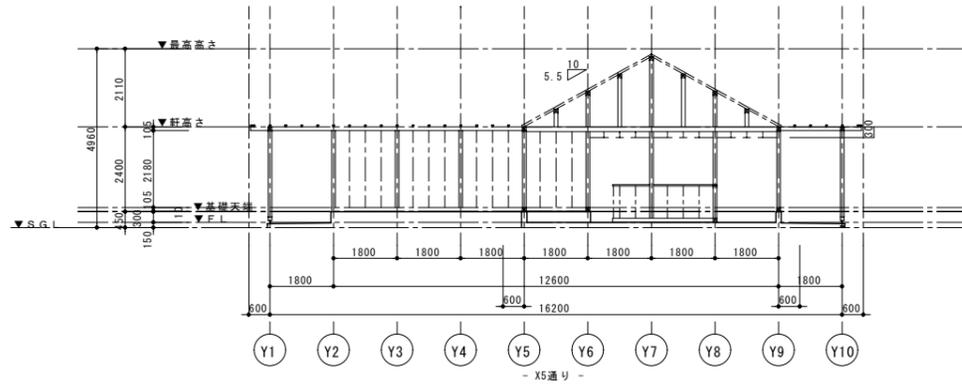
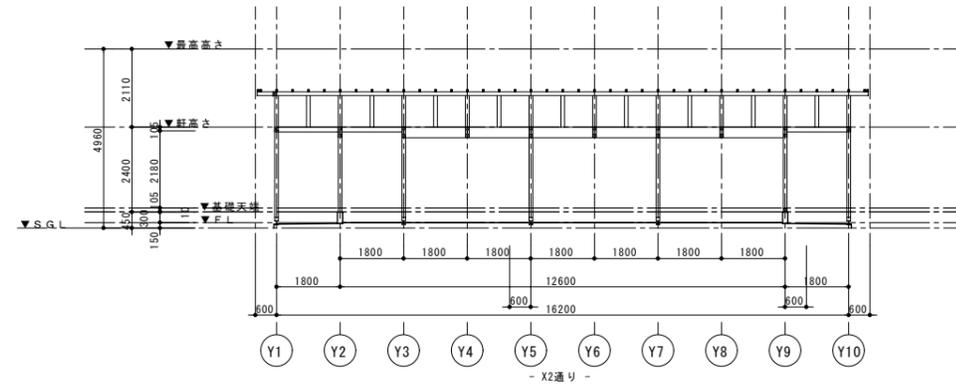
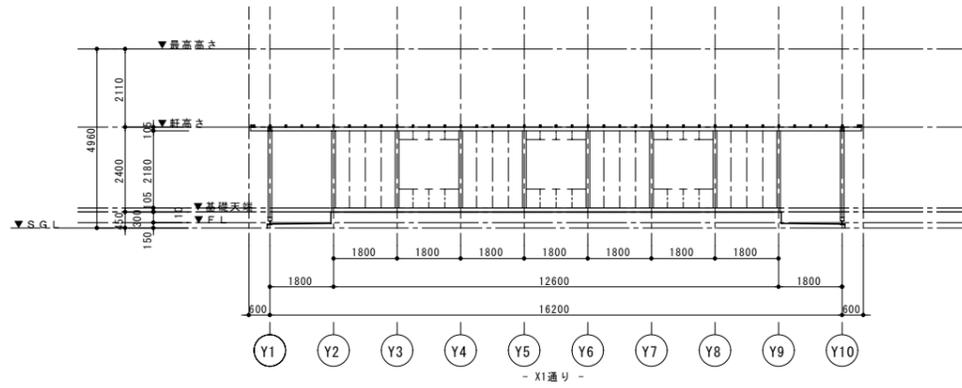
凡例 (天井伏図)	
イ	フレキシブル板 t6 素地
ロ	シナ合板 (調湿) 15.5 素地
ハ	化粧けい酸カルシウム板 t6
ニ	木部: WUC
---	既設アルミ製水切 (既製品)
---	漏り線: 塩ビ製
---	既設軒表換気ガラー
□	天井点検口 450×450
天井野線 タテ45×45@450 ヨコ45×45@450	

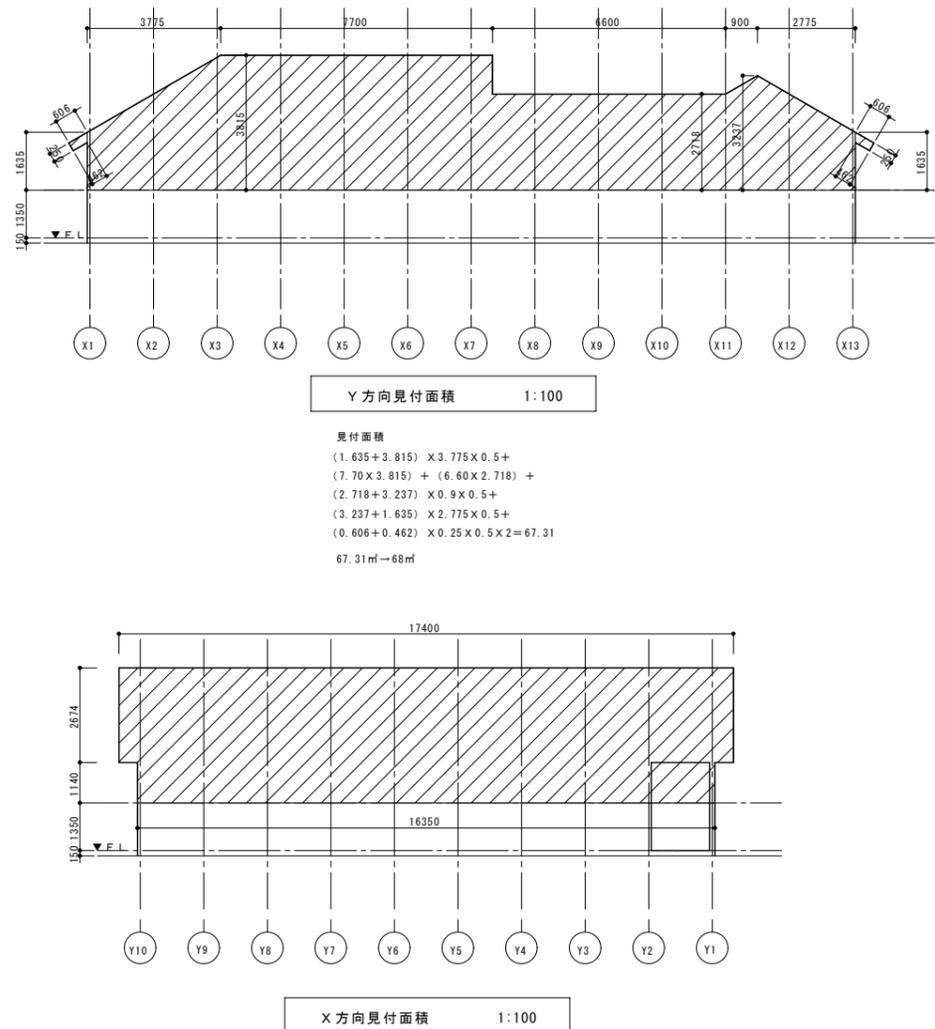
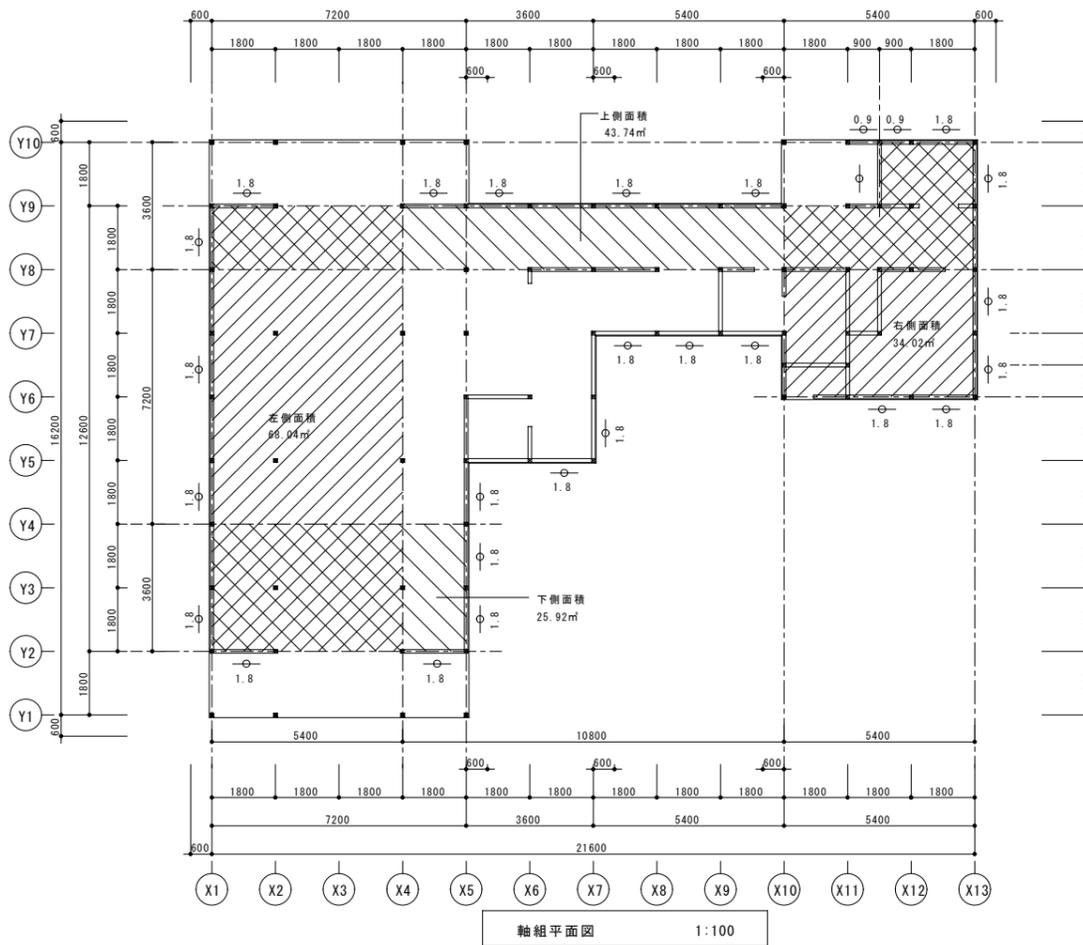


凡例・部材リスト (土台・梁・小屋伏図)	
土台	105×105 Aボルト #1.800 L=600
柱	105×105 ■ 現し化粧柱 105×105
桁・頭ツナギ	105×105
火打梁	105×105 ボルト締メ
母屋	105×105 #900
束	105×105
墨木	60×45 #450
墨木	96×45 #450
筋力イ	構造用合板 (OSB) t=9
	特記なき梁 105×105
G1	105×135 集成材
G1'	105×150 集成材
G2	105×270 集成材
G3	105×300 集成材
G4	105×210 集成材
G5	105×180 集成材
間柱	105×45 #450

特記事項  
 金物: Zマーク表示金物 (同等品) を使用すること  
 土台: 防錆剤注入 (クワロピリボリス混入不可)  
 柱: H=1.000 まで防錆剤塗布  
 木部現し: WUC (屋外は木材保護着色塗料クリア)  
 金物は建設省告示1460号によるものを使用すること。







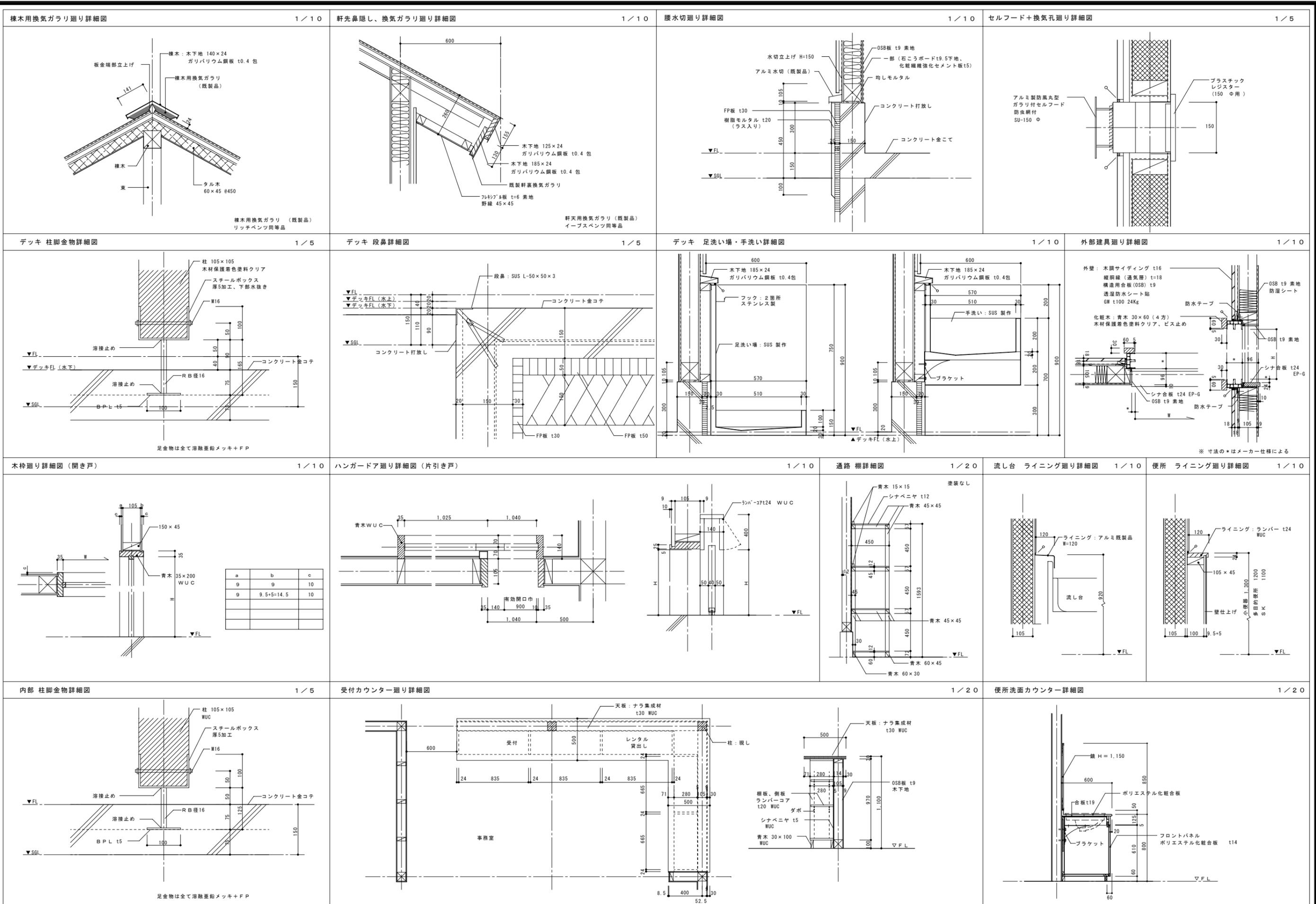
換気・施行令第116条の2に該当する窓その他の開口部の検討

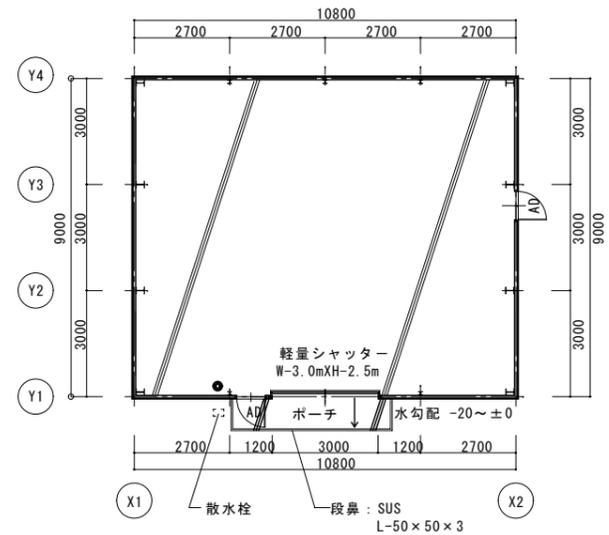
室名	休憩スペース、事務室	
採光	必要面積	(7.20 X 12.60) + (3.6 X 3.6 + 1.8 X 1.8 X 2) = 110.16
	採光補正係数	
	有効面積	
換気	必要面積	110.16 / 20 = 5.51
	有効面積	AW-1 (0.80 X 0.91 X 3) + AD-1 (0.77 X 2.0 X 2) + AW-5 (0.75 X 0.75 X 3) = 6.95
令116条の2	必要面積	110.16 / 50 = 2.20
	有効面積	AW-5 (0.75 X 0.75 X 4) = 2.25
判定		OK
室名	通路	
採光	必要面積	14.40 X 1.80 = 25.92
	採光補正係数	
	有効面積	
換気	必要面積	25.92 / 20 = 1.30
	有効面積	AW-1 (0.8 X 0.91 X 3) + AW-2 (0.8 X 0.91) = 2.91
令116条の2	必要面積	25.92 / 50 = 0.52
	有効面積	AW-1 (0.80 X 0.30 X 3) + AW-2 (0.8 X 0.30 + 1.625 X 0.30) = 1.45
判定		OK

床面積	171.72㎡	屋根：長尺カラー鉄板	0.7	外壁：木目サイディング					
見付面積	X方向：66㎡	Y方向：68㎡							
地震力必要軸組計算		風圧力必要軸組計算							
XY方向	X方向	Y方向							
地震力有効軸組量	風圧力必要軸組量	風圧力必要軸組量							
床面積 x15 (cm/㎡)	X方向見付面積 x50 (cm/㎡)	Y方向見付面積 x50 (cm/㎡)							
(A)：25.76m	(B)：33.0m	(C)：34.0m							
有効軸組量	仕様軸組の種類	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)
	構造用合板 t9	1.80	14	2.5	63.00	1.80	12	2.5	54.00
		0.90	2	2.5	4.50				
	計				63.00				54.00
判定	(A)0r(B) < 25.76 33.00		63.00 OK		(A)0r(C) < 25.76 34.00		54.00 OK		

算定部位	1階上				1階右				
必要軸組量	0.15 x 43.74 = 6.56				0.15 x 34.02 = 5.10				
有効軸組量	仕様軸組の種類	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)
	構造用合板 t9	1.80	6	2.5	27.00	1.80	4	2.5	18.00
	構造用合板 t9	0.90	2	2.5	4.50				
計				31.50				18.00	
充足率	31.50 / 6.56 = 4.80 > 1.0 OK				18.00 / 5.10 = 3.53 > 1.0 OK				
算定部位	1階下				1階左				
必要軸組量	0.15 x 25.92 = 3.89				0.15 x 68.04 = 10.21				
有効軸組量	仕様軸組の種類	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)	軸組長さ	カ所	倍率	有効軸組量 (m)
	構造用合板 t9	1.80	2	2.5	9.00	1.80	4	2.5	18.00
計				9.00				18.00	
充足率	9.00 / 3.89 = 2.31 > 1.0 OK				18.00 / 10.21 = 1.76 > 1.0 OK				

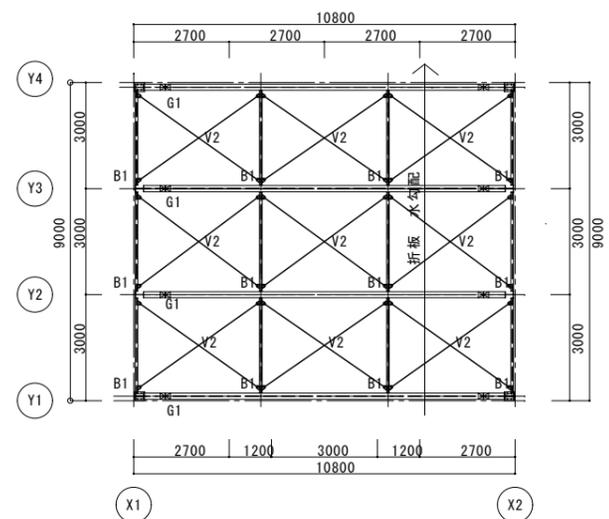
符合・個数	① 1	② 2	③ 1	④ 2	⑤ 1	① 2	② 1
室名	更衣室	男子便所、女子便所	S・K	給湯室、事務室	多目的便所	男子便所、女子便所	女子便所
形態							
見込	36	36	36	36	36		
形式	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア (ハンガータイプ)	トイレブース	トイレブース
材種	シナ合板	シナ合板	シナ合板	シナ合板	シナ合板	ポリエステル樹脂化粧合板	ポリエステル樹脂化粧合板
仕上	WUC	WUC	WUC	WUC	WUC		
納子					F4		
金物	SUS丁番125mm 2枚、レバーハンドル錠、C.L.(本)、戸当り	SUS丁番125mm 2枚、レバーハンドル、D.C.、C.L.(本)、戸当り	SUS丁番125mm 2枚、レバーハンドル、D.C.、C.L.(本)、戸当り	付属金物一式、SUS引手2枚、戸車、7&77ハンドル アルミガラリ	付属金物一式、SUS引手2本、自動閉鎖装置、ガイド金物 アルミガラリ、大型ラッチ錠(表示付)、ピクトサイン	5φトリピンジ、SUS鎖網ぎ、SUS巾木、SUSレール 戸当り(帽子掛け)、表示錠	5φトリピンジ、SUS鎖網ぎ、SUS巾木、SUSレール 戸当り(帽子掛け)、表示錠
備考							
符合・個数	① 5	② 1	③ 1	④ 1	⑤ 4	① 1	② 1
室名	休憩スペース・通路	通路	事務室	更衣室	休憩スペース	女子便所	
形態							
見込	70	70	70	70	70		
形式	引違いガラス窓	外側シランマ付引違いガラス窓	引違いガラス窓	突出しガラス窓	外側シアルミ窓	トイレブース	
材種	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム	ポリエステル樹脂化粧合板	
仕上	アルマイト	アルマイト	アルマイト	アルマイト	アルマイト		
納子	C3	C3	C3	F	C3		
金物	付属金物一式、クレセント	付属金物一式、クレセント、オペレーター	付属金物一式、クレセント	付属金物一式、レバーハンドル	付属金物一式、オペレーター、水切#85、結露受	SUS鎖網ぎ、SUS巾木	
備考	ロール網戸付、水切#85、結露受	ロール網戸付、水切#85、結露受	ロール網戸付、水切#85、結露受	ロール網戸付、水切#85、結露受			
符合・個数	① 2	② 1	③ 1				
室名	休憩スペース	通路	従業員用便所				
形態							
見込	70	70	70				
形式	FIX袖・ツマ付引違いガラスドア	FIXツマ付引違いガラスドア	片開きドア				
材種	アルミニウム	アルミニウム	アルミニウム				
仕上	アルマイト	アルマイト	アルマイト				
納子	C3	C3	ドア:アルミアルマイト				
金物	付属金物一式、引き違い用錠	付属金物一式、引き違い用錠	付属金物一式、C.L.(本)、表示錠、水切#85				
備考	衝突防止マーク	衝突防止マーク					
略号	W:窓 D:ドア S:シャッター G:ガラリ	OP:油性顔料ペイント SOP:合成樹脂顔料ペイント VP:塩化ビニル樹脂エナメル EP-G:合成樹脂エマルジョンペイント AEP:アクリル樹脂エナメル	C.L:クリヤーラッカー UP:ウレタン樹脂ウニス OS:オイルステイン O.S.V.V:オイルステインウニス H.L:ヘアライン	納子 C:トクメイ F:型紙 Y:強化 PW:積入ミガキ RW:ラフワイヤー	※特記事項 □ 特見付 □ 建具見付		
号							



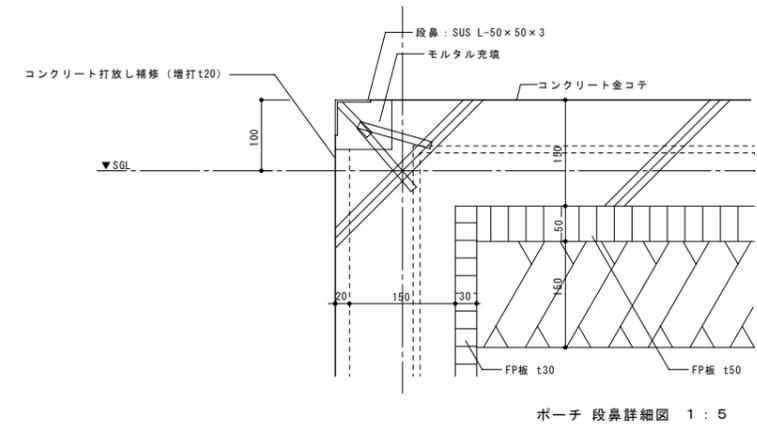
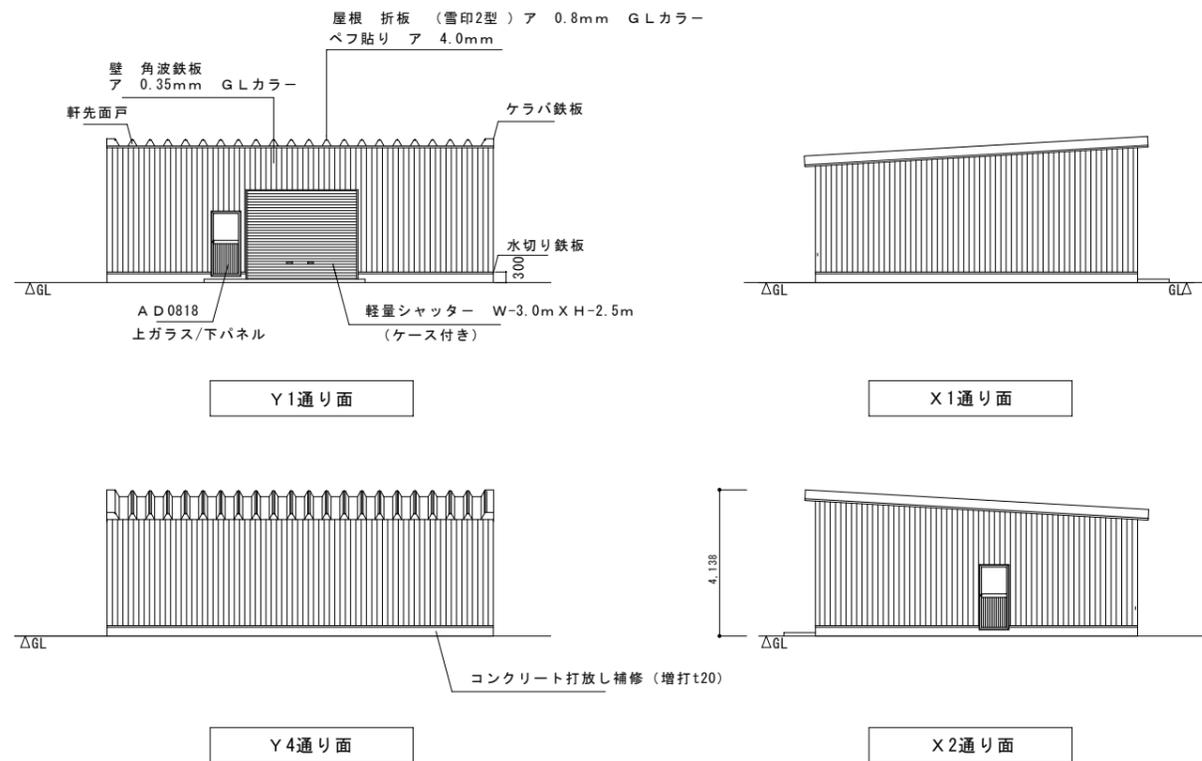


平面図 1:100 ● 消火器 (置き型) (備品)

(㎡)  
 建築面積 10.80 × 9.00 = 97.20  
 床面積 10.80 × 9.00 = 97.20



小屋伏図 1:100



部材リスト

C1	H-244×175×7×11
G1	H-346×174×6×9
B1	H-150×75×5×7
P1	H-100×100×6×8
H	2口-100×100×2.3
V1	19φ T.B付き
V2	13φ T.B付き
胴縁	C-75×45×15×1.6
折板受け	C-100×50×20×2.3

仕上表

床	コンクリート金コテ
腰壁	コンクリート打放し補修 (増打t20)
壁	角波鉄板現し及び鉄骨現し
天井	折板現し及び鉄骨現し
鉄骨	さび止め塗装

片流れ型 (5間X6間=30坪)

建築面積	9.0mX10.8m=97.2㎡
------	------------------

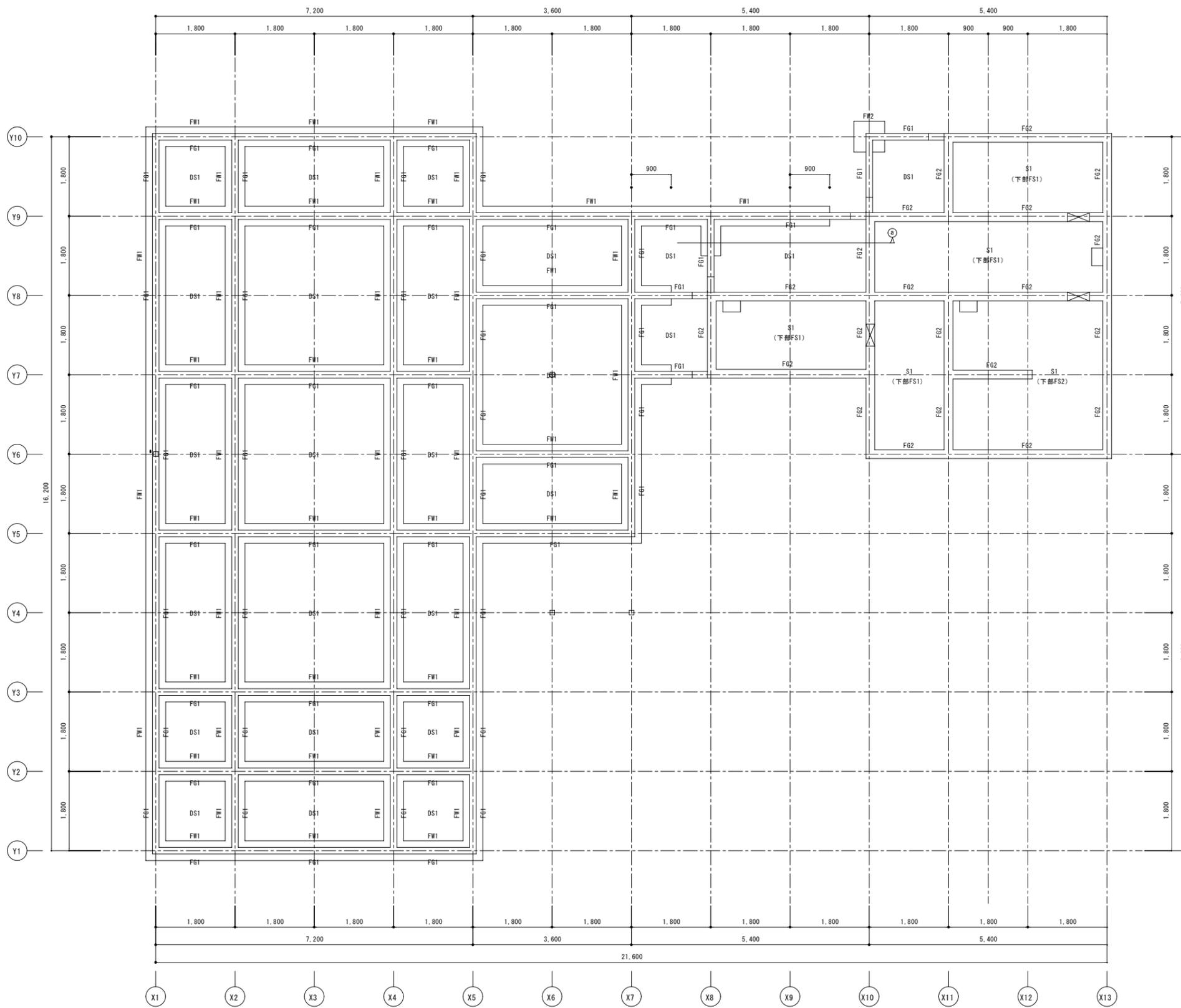
鉄骨部材リスト

C1	H-244X175X7X11
G1	H-346X174X6X9
B1	H-150X75X5X7
P1	H-100X100X6X8
シャッター受け	2口-100X100X2.3
小屋プレス	13φ
壁プレス	19φ
胴縁	C-75X45X15X1.6 (a) 606

板金部材リスト

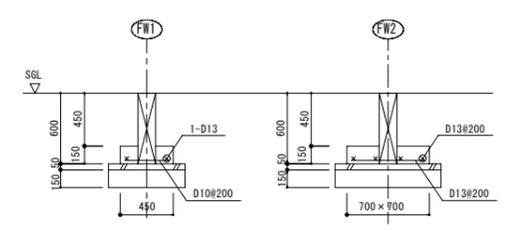
屋根折板	雪印2型 (ア) 0.8mm GLカラー鉄板
裏	ペフ貼り 4.0mm
壁	角波GLカラー鉄板 (ア) 0.35mm
面戸、水切り、シャッター回り収め、他	
建具リスト	
軽量シャッター	W-3.0mXH-2.5m スラット面: 焼付塗装
マグサ、ガイドレール、座板	SUS HL
三方枠	スチール焼付塗装
アルミドア	0818 ドアチェック付き 2箇所
フロート	t3
けらばタイトフレーム	@1,000程度

補助対象

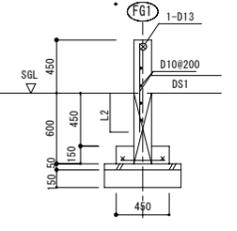


**基礎伏図** S=1:100  
 特記なき限り下記による  
 1. 地中梁上端 SGLU+00810  
 2. 基礎下端 SGL-600  
 3. ビット下端 SGL-1.500  
 4. FG1 下部 W15 を示す  
 5. 500VU+0306

**基礎リスト** S=1:30



**立ち上り壁配筋** S=1:30



**地中梁リスト** S=1:30

特記なき限り下記による  
 1. 巾止め筋 #1000

符号	FG1	FG2	人通り補強筋 450×450
	全断面	全断面	
巾×成	150×600	200×1,500	
上端筋	1-D13	2-D16	
下端筋	1-D13	2-D16	
STR	1-D10#200	2-D10#200	
腹筋	2-D10	8-D13	

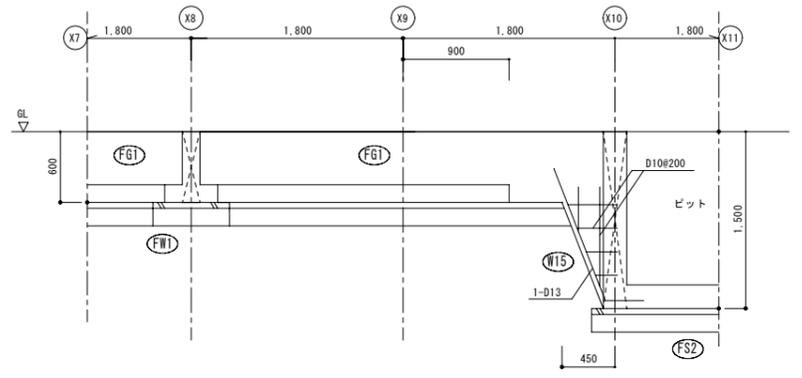
**スラブリスト**

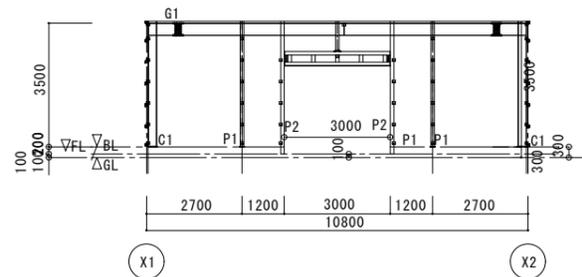
符号	スラブ厚	短辺方向 (主筋)		長辺方向 (配力筋)	
		上端筋	下端筋	上端筋	下端筋
S1	150	上端筋	D10・D13@200	上端筋	D10@200
		下端筋	D10・D13@200	下端筋	D10@200
DS1	150	上端筋	D10@200	上端筋	D10@200
		下端筋	D10@200	下端筋	D10@200
FS1	200	上端筋	D10・D13@200	上端筋	D10@200
		下端筋	D10・D13@200	下端筋	D10@200
FS2	200	上端筋	D10・D13@150	上端筋	D10・D13@150
		下端筋	D10・D13@150	下端筋	D10・D13@150

**壁リスト** S=1:30

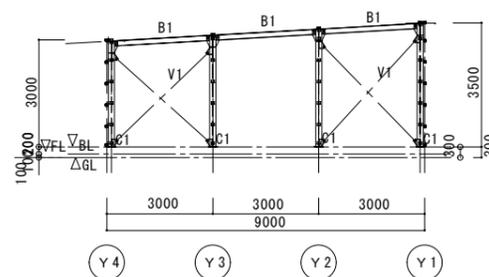
符号	W15
断面	150
タテ筋	D10@200
ヨコ筋	D10@200

**詳細断面** S=1:30

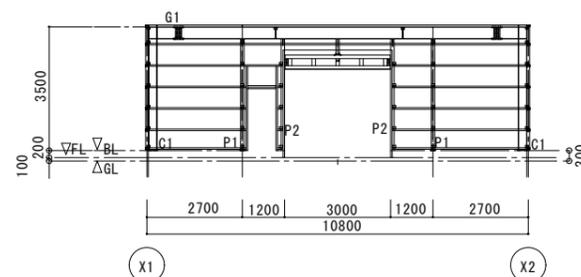




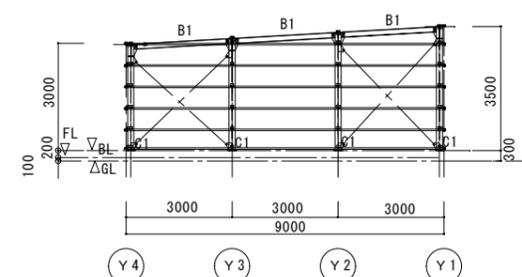
軸組図 Y1通り



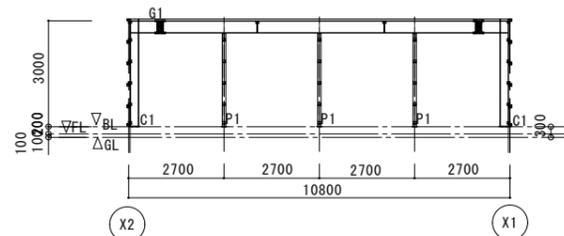
軸組図 X1通り



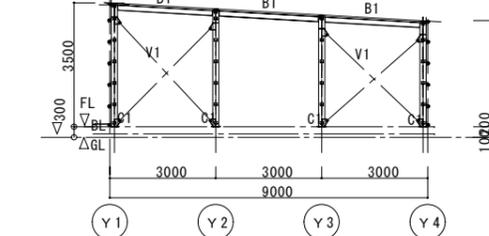
軸組図 Y1通り



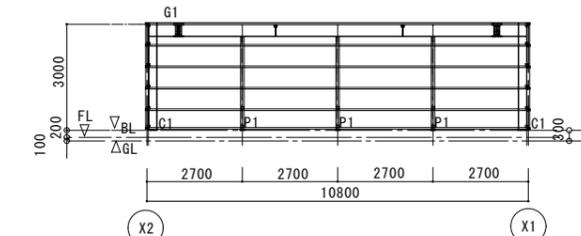
軸組図 X1通り



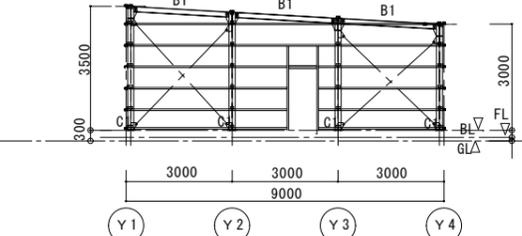
軸組図 Y4通り



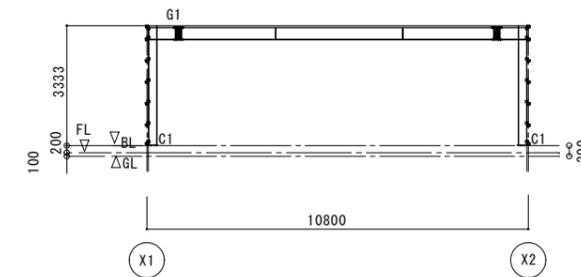
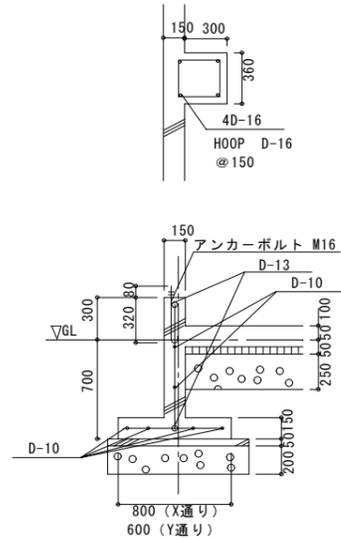
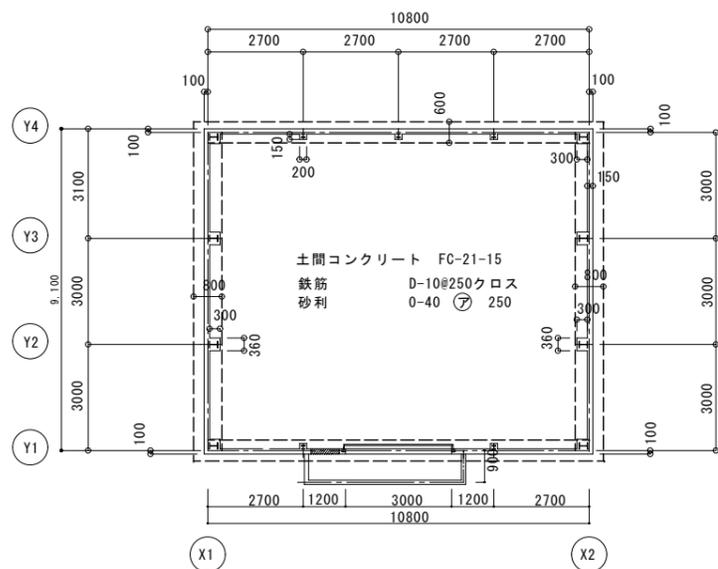
軸組図 X2通り



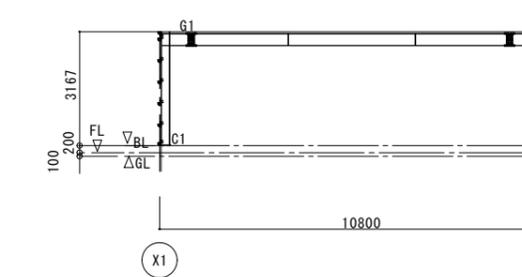
軸組図 Y4通り



軸組図 X2通り



軸組図 Y2通り



軸組図 Y3通り

特記事項

- ① 柱脚アンカーボルトの径はM16以上とする。
- ② アンカーボルトのコンクリートの定着長さは320mm以上とする。  
(日本建築学会 鋼構造接合部設計指針による。20d=20×16=320mm【d: アンカーボルト径】)
- ③ アンカーボルトの全長は400mm程度とする。  
320+80=400mm

H形鋼柱脚表

使用	鋼材サイズ	ベースプレート			アンカーボルト				リブプレート	
		板厚	B	L	径	本数	B'	L'	板厚	H
	H-160×75×5×7	9	200	190	16	2	100	-		
	H-198×99×4.5×7									
	H-200×100×5.5×8	12	160	250	16	2	100	-		
	H-248×124×5×8									
	H-250×125×6×9	12	180	300	16	4	110	100		
	H-298×149×5.5×8									
	H-300×150×6.5×9	16	200	300	20	4	120	130		
	H-348×174×8×9									
	H-350×175×7×11	19	225	410	20	4	145	160		
	H-398×199×7×11									
	H-400×200×8×13	22	250	460	20	4	160	180		
	H-448×199×8×12									
	H-450×200×9×14	25	250	540	22	4	160	210		
	H-498×199×9×14									
	H-500×200×10×16	25	250	590	24	4	190	250	9	200
	H-598×199×10×15									
	H-600×200×11×17	25	250	700	24	4	160	300	12	250
	H-606×201×12×20									
	H-682×300×11×15									
	H-688×300×11×18	25	350	590	24	4	210	230	12	250
	H-692×300×12×17									
	H-698×300×12×20	25	350	690	24	4	210	285	12	250
	H-692×300×13×20									
	H-700×300×13×24	28	350	800	24	6	210	200	12	250
	H-792×300×14×22									
	H-800×300×14×26									
	H-890×299×15×23	32	360	1020	28	6	220	280	12	250
	H-900×300×16×26									
	H-100×100×8×8	9	200	190	16	2	100	-		
	H-125×125×8.5×9	12	165	185	16	2	95	-		
	H-150×150×7×10	16	190	220	20	2	120	-		
	H-175×175×7.5×11	19	220	255	22	2	140	-		
	H-200×200×8×12	19	250	280	16	4	160	80		
	H-250×250×8×14	22	300	340	20	4	190	100		
	H-300×300×10×15	25	350	400	22	4	220	130		
	H-350×350×12×19	28	410	470	24	4	250	150		
	H-400×400×13×21	28	470	530	28	4	310	180		
	H-300×200×8×12	22	250	380	22	4	160	130		
	H-350×250×9×14	22	300	440	22	4	190	160		
	H-400×300×10×16	25	350	500	24	4	210	200		
	H-448×300×11×18	28	360	560	28	4	220	210		
	2C-100×50×20×1.6 3.2	9	150	120	16	2	75	-		

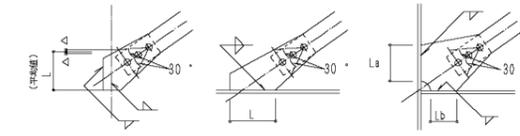
山形鋼筋かい

(鋼材：SS400, 高力ボルト：S10T)

使用	部材	高力ボルト	ガセットプレート			
			厚さ (mm)	隅角サイズ (mm)	L	必要溶接長 (mm) (L=La+Lb)
シングル	L-85×85×8	5-M16	6	4.5	16	9
	L-75×75×6	4-M16	6	4.5	18	10
	L-75×75×8	5-M16	9	4.5	26	14
	L-75×75×12	5-M16	12	6	26	14
	L-90×90×7	4-M16	9	6	20	11
	L-90×90×10	5-M20	12	6	26	14
	L-90×90×13	5-M20	16	9	23	13
	L-100×100×7	4-M20	9	6	22	12
	L-100×100×10	4-M20	12	6	21	11
	L-100×100×13	5-M20	16	6	26	14
ダブル 重ね	2L-85×85×8	5-M16	9	6	35	18
	2L-75×75×8	4-M16	9	6	30	16
	2L-75×75×9	4-M22	12	9	40	21
	2L-75×75×12	5-M20	19	10	42	22
	2L-90×90×7	4-M20	12	10	35	20
	2L-90×90×10	5-M20	16	10	43	23
	2L-90×90×13	6-M22	19	12	46	24
	2L-100×100×7	4-M20	12	10	40	21
	2L-100×100×10	5-M22	16	12	43	23
	2L-100×100×13	6-M22	19	12	52	28
ダブル 並列	2L-85×85×8	2×5-M16	9	4.5	30	16
	2L-75×75×8	2×4-M16	9	6	27	14
	2L-75×75×9	2×5-M16	16	6	38	20
	2L-75×75×12	2×5-M16	19	9	34	18
	2L-90×90×7	2×4-M16	12	9	26	14
	2L-90×90×10	2×5-M20	16	9	35	19
	2L-90×90×13	2×5-M20	19	9	44	23
	2L-100×100×7	2×4-M20	12	9	29	16
	2L-100×100×10	2×4-M20	16	9	39	21
	2L-100×100×13	2×5-M20	19	9	49	26

<ガセットプレートの溶接>

必要溶接長L



ボルトピッチ及びはしあき



単位 (mm)				
軸径	12	16	20	22
ピッチ	50	60	70	80
はしあき	30	40	50	55

建築用ターンバックル筋かい

ターンバックル筋かいは、JIS A5540, A5541, A5542に準ずる。  
ターンバックル筋かいの表記は以下による。

S-ST-S サイズ

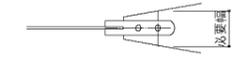
- S: 羽子板ボルト
- ST: 割く式ターンバックル胴
- PT: バイブ式ターンバックル胴
- サイズ: ねじの呼び、M12~M33

(鋼材：SS400, 高力ボルト：S10T)

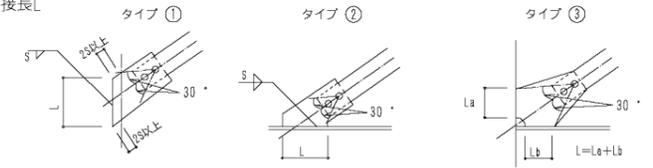
ガセットプレート及び取り付けボルトは以下による。

ねじの呼び	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M30	M33
厚さ (mm)	6	6	9	9	9	12	12	12	12	12
必要幅 (mm)	60	70	75	85	85	85	100	100	110	110
隅角溶接サイズ (mm)	6	6	8	8	8	8	10	10	10	10
必要溶接長 (mm)	タイプ ①		タイプ ②		タイプ ③		タイプ ④		タイプ ⑤	
	60	60	80	80	80	80	100	100	114	141
	42	42	56	56	56	56	70	70	77	91
	54	54	72	72	72	72	90	90	97	111
取り付けボルト	1-M18	1-M16	1-M16	1-M20	1-M20	1-M22	2-M20	2-M20	2-M22	2-M22

<ガセットプレートの溶接>



必要溶接長L

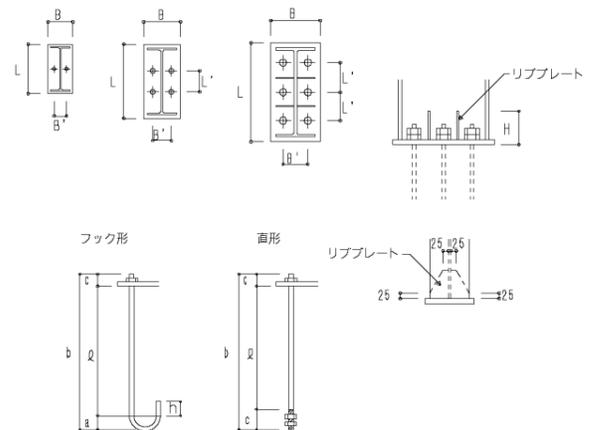


H形鋼ピン接合部

使用	鋼材サイズ	ボルト		板厚	備考
		径	本数		
	H-150×75×5×7	M16	2	6	
	H-198×99×4.5×7				
	H-200×100×5.5×8	M16	2	9	
	H-248×124×5×8				
	H-250×125×6×9	M20	3	9	
	H-298×149×5.5×8				
	H-300×150×6.5×9	M20	3	9	
	H-348×174×8×9				
	H-350×175×7×11	M20	3	9	
	H-398×199×7×11				
	H-400×200×8×13	M20	4	12	
	H-448×199×8×12				
	H-450×200×9×14	M22	4	12	
	H-498×199×9×14				
	H-500×200×10×16				
	H-598×199×10×15	M22	5	16	
	H-600×200×11×17				
	H-606×201×12×20	M22	6	16	
	H-340×250×9×14	M20	3	12	
	[ - 100×50×5×7.5	M16	2	6	
	2C - 75×45×15×1.6 3.2	中ボルト 16	2	6	
	2C - 100×50×20×1.6 3.2	中ボルト 16	2	6	

アンカーボルト標準寸法

ボルト径	フック形					直形		
	a	c	d	b	h	c	d	b
M16	32	80	500	612	65			
M20	40	80	600	720	80			
M22	44	80	660	774	90	80	650	810
M24	48	100	700	848	100	100	700	900
M28						100	900	1,100



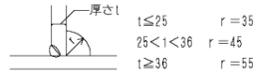
参考

溶接工作上的の注意事項

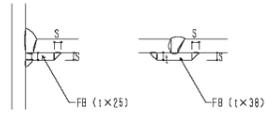
- 開先加工 自動ガス切断又は機械加工とする。
- 仮付溶接 仮付溶接は原則としてショートビードをさけ、その長さは特記による。

板厚 (mm)	手溶接・半自動溶接	自動溶接
t < 25	40以上	50以上
t ≥ 25	50以上	70以上

- 予熱 材料の種類、板厚及び母材の温度等により適当な予熱を行う。
- のど厚、余盛 突合せ溶接ののど厚は母材の厚さ以上とし、余盛は4mm以下とする。隅肉溶接の場合の余盛は3mm以下とする。
- スカラップ スカラップを設ける場合は下記による。



- 裏はつり 突合せ溶接における両面溶接は原則として裏はつりを行う。但し、自動溶接において完全溶け込みが得られる場合は、裏はつりを省略しても良い。
- 裏はつり 片面溶接に用いる裏あて板の溶接は断続隅肉溶接とする。

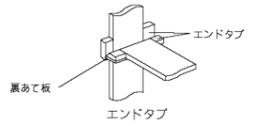


裏あて板寸法 (mm)		溶接のサイズ (mm)	
溶接工法	t	裏あて板の寸法	S
手溶接	8以上	t ≤ 9	5
半自動溶接	9以上	t > 9	9
自動溶接	12以上		

- 裏あて板の寸法及び溶接
- 段違い 溶接する材の表面の高さに段違いのある場合は、低い方の表面から高い方の表面に滑らかに形状が移行するように溶着金属を盛る。高さの差が4mmを超えるときは下図による。

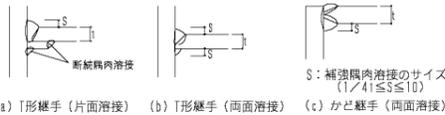


- エンドタブ 突合せ溶接及び部分溶込み溶接の両端には、継手と同じ形状の鋼製エンドタブを取り付ける。溶接完了後エンドタブは原則として除去し、グラインダー仕上げとする。また、隅肉溶接の場合も突合せ溶接に準じてエンドタブを使用するか、隅角部を廻し、連続してアークを切ることなく廻し溶接をする。エンドタブは、原則として、母材と同厚のものを用い、長さは下記による。



溶接工法	長さ (mm)
手溶接	35以上
半自動溶接	40以上
自動溶接	70以上

- 補強隅肉溶接 T形継手、かど継手及び部分溶込み溶接の場合には、補強隅肉溶接を付加し、そのサイズは突き合わせる板厚の1/4以上かつ10mm以下とする。



溶接継手標準

- 記号 本標準においては下記の記号を用いるものとする。

- 1. 溶接開先の表示記号 溶接開先を表すには、溶接方法・継手形式・開先形状などを指定するための次に示す、分類記号を用いる。第1項：溶接方法を示す。【付表1】

付表1

記号	溶接方法の種類	溶接溶込みの種類
MC	アーク手溶接	完全溶込み溶接
MP		部分溶込み溶接
SC	サブマージアーク溶接	完全溶込み溶接
SP		部分溶込み溶接
CC	ガスシールドアーク半自動溶接	完全溶込み溶接
CP		部分溶込み溶接
MPF	アーク手溶接	部分溶込み溶接と隅肉溶接の併用
SPF	サブマージアーク溶接	
QPF	ガスシールドアーク半自動溶接	
MF	アーク手溶接	
SF	サブマージアーク溶接	隅肉溶接
GF	ガスシールドアーク半自動溶接	

- 第2項：継手形式と開先形状を示す。【付表2】

付表2

継手形状		開先形状	
記号	名称	記号	名称
B	突合せ継手	I	I形
T	T継手	V	V形
L	かど継手	X	X形
CP	鋼管分岐継手	L	L形
RP	角形鋼管分岐継手	K	K形
		U	U形
		J	J形
		H	H形 (両面U形)
		DJ	両面J形

- 第3項：裏あてのある場合、及び溶接が片側か両側かを示す。但し、裏あてを用いないときはその記号を省略する。

- 表示記号は以下のように配列するものとする。第1項-第2項-第3項

- 2. 溶接姿勢及び開先の寸法記号

溶接姿勢を表す記号は次の通りである。

- F: 下向き姿勢
- H: 横向き (水平) 姿勢
- V: 立向き姿勢
- O: 上向き姿勢

- 開先標準の寸法記号と開先加工の寸法許容差を示す記号及び単位は、次の通りである。

- G: ルート間隔あるいは部材間の間隔 (mm)
- D: 開先深さ
- R: ルート面 (mm)
- α: 開先角度 (度)
- S: 脚長 (mm)
- r: ルート半径 (mm)
- T: 母材の板厚あるいは鋼管継手の支管管厚 (mm)
- t: 有効のど厚 (mm)
- θ: 鋼管分岐継手の両管軸の交角 (度)
- ψ: 鋼管分岐継手の両管の面角 (度)
- ΔG: ルート間隔あるいは部材間の間隔に対する許容差 (mm)
- ΔR: ルート面に対する許容差 (mm)
- Δα: 開先角度に対する許容差 (mm)
- Δr: ルート半径に対する許容差 (mm)

突合せ溶接

(a) アーク手溶接					(b) ガスシールドアーク半自動溶接					(c) サブマージアーク自動溶接				
記号	図	適用板厚 (mm)	溶接姿勢	寸法 (mm)	記号	図	適用板厚 (mm)	溶接姿勢	寸法 (mm)	記号	図	適用板厚 (mm)	溶接姿勢	寸法 (mm)
MC-BI-2		≤6	F H V O	1 2	GC-BI-2		≤6	F H V O	1 3	SC-BI-2		6~12	F H V O	0
MC-BI-BI		≤6	F H V O	T	GC-BI-BI		≤6	F H V O	2 1 3 T	SC-BI-BI		6~9	F H V O	T
MC-BV-2		≥6	F H V O	0 2 60	GC-BV-2		≥6	F H V O	0 2 60	SC-BV-2		≥12	F H V O	G D1 R 8 α1 60
MC-BV-BI		≥6	F H V O	0 2 45	GC-BV-BI		≥6	F H V O	0 2 45	SC-BV-BI		≥9	F H V O	G D1 R 2 α1 30
MC-BX-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 80 α1 80	GC-BX-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 80 α1 80	SC-BX-2		≥19	F H V O	G D1 R 8 D2 1/3 · (T-R) 80 α1 80
MC-BL-2		≥6	F H V O	0 2 45	GC-BL-2		≥6	F H V O	0 2 45	SC-BL-2		≥12	F H V O	G D1 R 6 α1 50
MC-BL-BI		≥6	F H V O	0 2 45	GC-BL-BI		≥6	F H V O	0 2 45	SC-BL-BI		≥9	F H V O	G D1 R 2 α1 30
MC-BK-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 45 α1 80	GC-BK-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 45 α1 80	SC-BK-2		≥19	F H V O	G D1 R 6 D2 1/3 · (T-R) 50 α1 80
MC-TI-2		≤6	F H V O	1 3	GC-TI-2		≤6	F H V O	1 3	SC-TI-2		6~9	F H V O	0
MC-TL-2		≥6	F H V O	0 2 45	GC-TL-2		≥6	F H V O	0 2 45	SC-TL-2		≥9	F H V O	G D1 R 6 α1 80
MC-TL-BI		≥6	F H V O	0 2 45	GC-TL-BI		≥6	F H V O	0 2 45	SC-TL-BI		≥9	F H V O	G D1 R 2 α1 30
MC-TK-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 45 α1 80	GC-TK-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 45 α1 80	SC-TK-2		≥19	F H V O	G D1 R 6 D2 1/3 · (T-R) 80 α1 80
MC-LI-BI		≤6	F H V O	T	GC-LI-BI		≤6	F H V O	6 T	SC-LI-BI				
MC-LV-2		≥6	F H V O	0 2 60	GC-LV-2		≥6	F H V O	0 2 60	SC-LV-2		≥9	F H V O	G D1 R 8 α1 80
MC-LV-BI		≥6	F H V O	0 2 45	GC-LV-BI		≥6	F H V O	0 2 45	SC-LV-BI		≥9	F H V O	G D1 R 2 α1 30
MC-LL-2		≥6	F H V O	0 2 45	GC-LL-2		≥6	F H V O	0 2 45	SC-LL-2		≥9	F H V O	G D1 R 6 α1 50
MC-LL-BI		≥6	F H V O	0 2 45	GC-LL-BI		≥6	F H V O	0 2 45	SC-LL-BI		≥9	F H V O	G D1 R 2 α1 30
MC-LK-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 45 α1 80	GC-LK-2		≥16	F H V O	0 2 2/3 · (T-R) 2 1/3 · (T-R) 45 α1 80	SC-LK-2		≥19	F H V O	G D1 R 6 D2 1/3 · (T-R) 50 α1 80

突合せ継手 (完全溶込み)

T型継手 (完全溶込み)

かど継手 (完全溶込み)

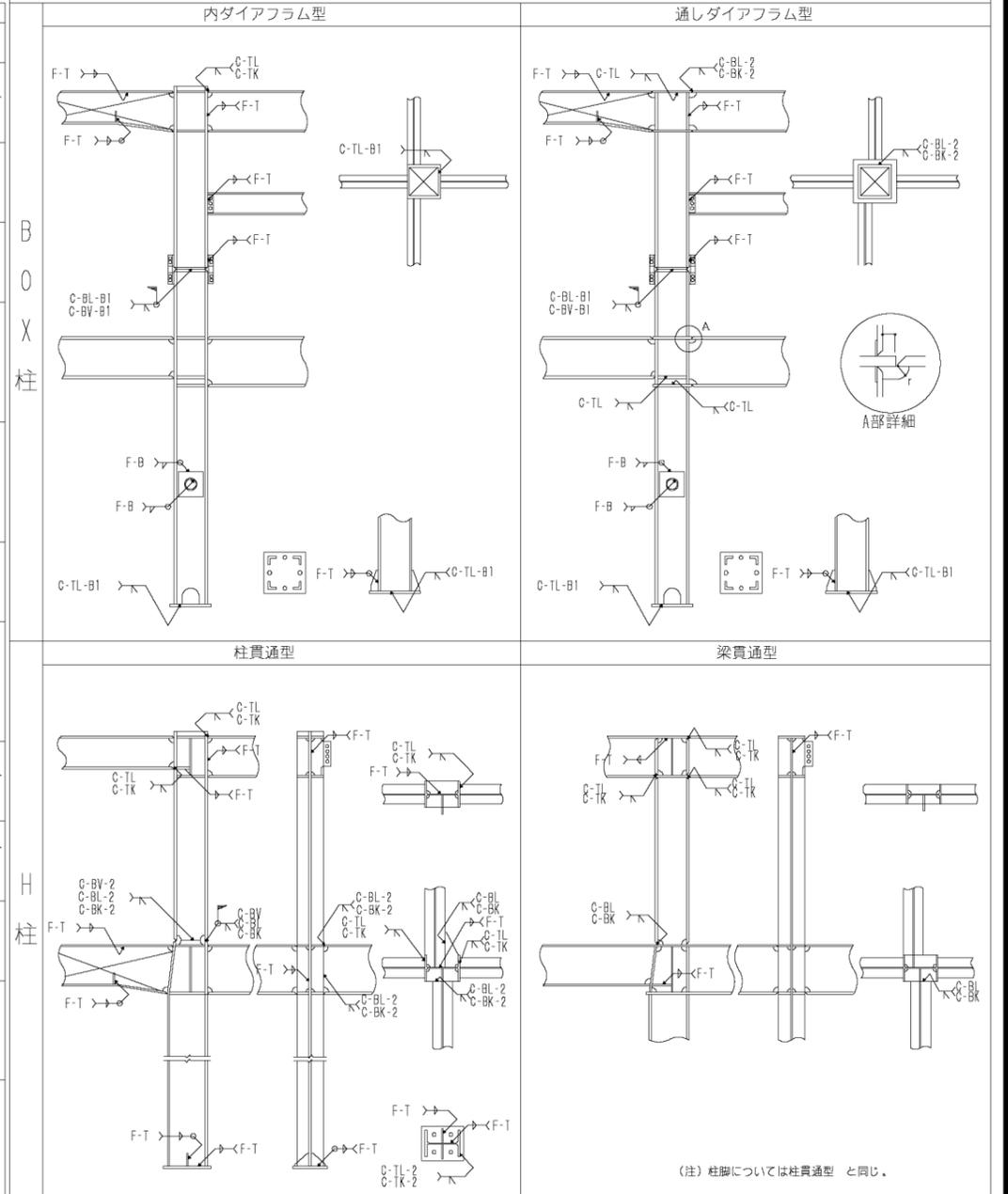
参考

隅肉溶接

	(a) アーク手溶接				(b) ガスシールドアーク半自動溶接				(c) サブマージアーク自動溶接								
	記号	図	適用板厚 (mm)	溶接姿勢	寸 (mm) 法	記号	図	適用板厚 (mm)	溶接姿勢	寸 (mm) 法	記号	図	適用板厚 (mm)	溶接姿勢	寸 (mm) 法		
突合せ溶接 (部分溶込み)	MP-B1-1		≦6	FHV0	G 0	GP-B1-1		≦9	FHV0	G 0	SP-B1-1		≦20	FHV0	G 0	ストレートビード 巾の1/2以下	
	MP-B1-2		≦9	FHV0	G 0	GP-B1-2		≦12	FHV0	G 0	SP-B1-2		≦20	FHV0	G 0		
	MP-BL-1		≧6	FHV0	G D1 R D2 α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 45°	GP-BL-1		≧6	FHV0	G D1 R D2 α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 45°	SP-BL-1		≧16	FHV0	G D1 R D2 α1 $\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 50°
	MP-BX-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 80° 80°	GP-BX-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 80° 80°	SP-BX-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2 $\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 80° 80°
	MP-BK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 45° 45°	GP-BK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 45° 45°					
T型継手 (部分溶込み)	MP-TL-1		≧6	FHV0	G D1 R α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 45°	GP-TL-1		≧9	FHV0	G D1 R α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 45°	SP-TL-1		≧16	FHV0	G D1 R α1 $\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 80°
	MP-TK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 45° 45°	GP-TK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 45° 45°	SP-TK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2 $\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 50° 50°
かど継手 (部分溶込み)	MP-L1-1		≦6	FHV0	G 0	GP-L1-1		≦9	FHV0	G 0	SP-L1-1		≦20	FHV0	G 0	ストレートビード 巾の1/2以下	
	MP-L1-2		≦9	FHV0	G 0	GP-L1-2		≦12	FHV0	G 0						ストレートビード 巾の1/2以下+ 隅肉のど厚	
	MP-LV-1		≧6	FHV0	G D1 R α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 60°	GP-LV-1		≧6	FHV0	G D1 R α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 60°	SP-LV-1		≧16	FHV0	G D1 R α1 $\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 80°
	MP-LL-1		≧6	FHV0	G D1 R α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 45°	GP-LL-1		≧6	FHV0	G D1 R α1	$\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 45°	SP-LL-1		≧16	FHV0	G D1 R α1 $\geq 2\sqrt{T}$ T-D1 50°
	MP-LK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 45° 45°	GP-LK-2		≧25	FHV0	G D1 R D2 α1 α2	$\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 45° 45°	SP-LK-2		≧16	FHV0	G D1 R D2 α1 α2 $\geq 2\sqrt{T}$ T · (D1+D2) 50° 80°
重ね継手	MP-B		1   6 9 12 16 S   5 7 9 12		GP-B		1   6 9 12 16 S   5 7 9 12		SP-B		1   6 9 12 16 S   5 7 9 12						
T型継手	MP-T		1   6 9 12 16 S   5 7 9 12		GP-T		1   6 9 12 16 S   5 7 9 12		SP-T		1   6 9 12 16 S   5 7 9 12						

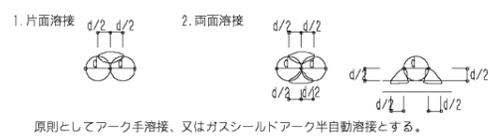
溶接開先適用図

(第1項では溶接方法の種類M・S・Gは省略する。第3項のないものは、いずれによっても良い。)



(注) 柱脚については柱貫通型 と同じ。

フレア溶接



スタッド溶接

・スタッド溶接はアークスタッド溶接の直接溶接とし、原則として下向き姿勢とする。  
・溶接要項は日本建築学会「溶接工作規準 Ⅲ スタッド溶接」に準じて行う。

参考